

電気設備標準シンボルデータ交換用

# 中間ファイル仕様

1997年9月

建設業CADデータ交換コンソーシアム  
第一委員会WG3(電気分野)

# 目 次

第 1 章	用語解説	1
第 2 章	中間ファイルの基本構成	2
第 3 章	基本定義	3
第 4 章	中間ファイル属性定義	6
第 5 章	図面属性定義	12
第 6 章	シンボル定義	14
第 7 章	図形定義	19
第 8 章	中間ファイル定義例	49
第 9 章	別表・付録	69
別表 1	線種	69
別表 2	使用可能漢字コード	70
別表 3	レイヤ番号と内容	71
別表 4	レンジの定義と中間ファイルの内容	76
別表 5	電源種別の相・線・電圧の組合せ	79
別表 6	用紙の大きさ	79
別表 7	定義文字と定義方法一覧	80

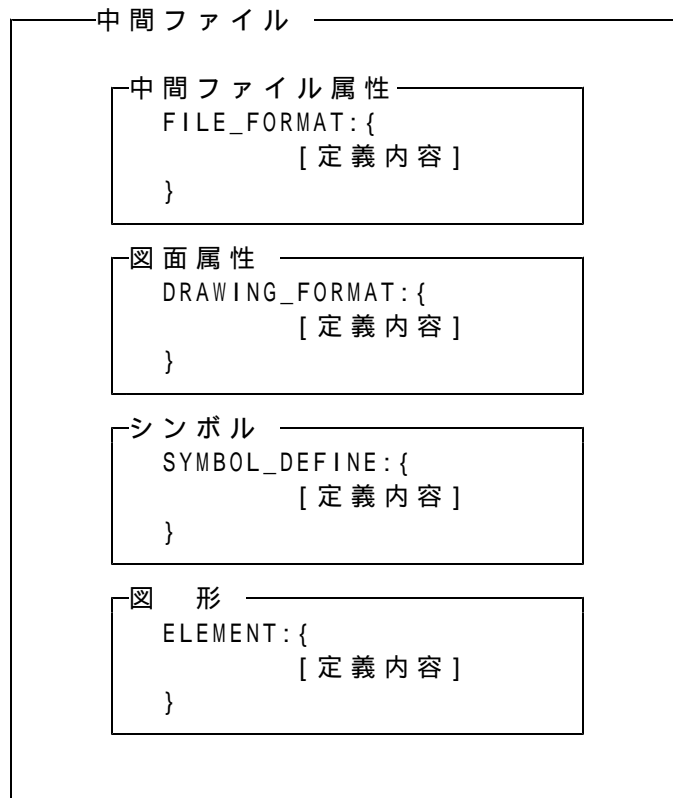
## 第 1 章 用語解説

本書で用いられている用語について説明する。

- 1 . 説明中の「`\r`」は、改行コード ( C R + L F ) を表す。
- 2 . 図面を出力した状態で 1 / 1 の値を、「実寸」と呼び、縮尺値で与えられる値を、「縮尺値を考慮した値」と呼ぶ。例えば、長さが 1 2 0 0 mm の蛍光灯を縮尺 1 / 1 0 0 の図面に作図したとき、実寸では、1 2 mm と表し、縮尺を考慮した値では 1 2 0 0 mm と表す。
- 3 . 定義内容の記入されていない定義のことを、「未定義定義」と呼ぶ。特に指定のある場合に限って使用できる。
- 4 . 付加情報を持たない図形を「一般図形要素」と呼び、一般図形要素の中で、直線・円 ( 円弧 ) ・楕円 ( 楕円弧 ) ・点・文字列を特に基本図形要素と呼ぶ。
- 5 . 「」は、空白文字を表す。
- 6 . 同一座標として認識される範囲は、それぞれの C A D の精度に依存するため、特に規定は設けないが、チェックプログラムでは、指定された範囲によりチェックを行う。
- 7 . 本中間ファイルは、レンジの概念を持つ。レンジとは、中間ファイルの内容に対する概略の内容を知るためのもので、レンジにより同じ要素を変換する C A D の仕様に合わせ、様々な方法で定義できる。一般的なバージョンと同様な役割も持つ。
- 8 . C A D 図面においては、画面上 ( 図面上 ) に表現されずに、C A D 内部で保持している図形情報を持つ。これを属性と呼ぶ。この属性により、C A D のさまざまな機能を実現している。
- 9 . 複数の直線などの一般図形要素を組み合わせることで 1 つの図形にした物をシンボルと呼ぶ。シンボルには、属性を持つ電気図面のコンセントや照明器具と、図の形状のみを表す属性を持たない家具などがある。属性を持つシンボルは、その属性により C A D の機能を生かすことができる。シンボル定義中の中心座標も属性としての役割を果たすことが多い。そのため、シンボル定義時の中心座標をシンボルの重心といい、属性を配慮した座標であることを示す。
- 1 0 . シンボル定義にシンボルを使用することをシンボルのネストという。例えば、コンセントとテレビのシンボルと、それを囲む長方形を使用して、新しいコンセント・テレビ一体型のシンボルを作成するなどである。
- 1 1 . コンピュータ上では文字をコード番号で表す。本書では、一般的に半角文字と呼ばれる英数字では、A S C I I コードを使用し、全角文字と呼ばれる漢字では、シフト J I S コードを使用する。
- 1 2 . データ受け渡し上では必要でないが、中間ファイル記述の統一性や、コンパイルプログラム作成の効率化のために定義する要素がある。この要素のようにデータ上は不必要な定義のことをダミーという。

## 第 2 章 中間ファイルの基本構成

本中間フォーマットは、以下の 4 つのブロックから構成されている。  
特に指定のない限り、各行の記述の順番は自由だが、この 4 つの項目は、以下の順番で定義しなければならない。



1. 中間ファイル属性  
中間ファイルのレンジ・作成日時・変換ソフト名などの、中間ファイルに関する情報の定義を行う。
2. 図面属性  
用紙サイズ・縮尺・図面名称など、変換後にも使用する図面に関する情報の定義を行う。
3. シンボル  
電気シンボル・衛生陶器・配管継ぎ手など、設備図面では不可欠な部品の定義を行う。
4. 図形要素  
実際に図面上に表示される直線、円、シンボル等の絵を定義する。

なお、詳細な設定内容については、それぞれの章の説明による。

### 第 3 章 基本定義

ここでいう基本定義とは、C A D 側で作成した図面ファイルと変換する中間ファイルとの相互変換を、確実にを行うための基本事項をまとめたものである。

番号	基本定義	内 容
1	ファイル形式	ファイル形式は、M S - D O S 上での参照・更新が可能なテキスト形式とする。ただし、別表 2 に定めた外字は除く。
2	ファイル名称	M S - D O S に準ずる英数字 8 文字以内とし、拡張子は「A C C」の固定とする。
3	英 字	英字は、大文字と小文字を識別する。ただし、ファイル名はこの限りではない。
4	行の認識	M S - D O S に準じ、C R + L F コード（アスキーコードの 1 3 と 1 0）を行末とし、次の文字から新しい行とする。
5	ファイルの最後	ファイルの最後には、E O F コード（アスキーコードの 2 6）を記入する。
6	中間ファイルの最後	中間ファイルの最後の行は、「E O F」と記入しなければならない。ただし、マルチボリュームのばあいは、最後のファイル以外は、記入しない。
7	空白文字	行頭からの半角スペース・全角スペース・タブは、中間ファイルデータとして扱わず、無視をする。ただし、行の中間や行末はデータとして扱われる。
8	漢字コード	漢字コードは、シフト J I S に準じた別表 2 を使用する。機種による特殊文字の使用は出来ない。M S - D O S の外字コード部分は、定めた特殊文字として、使用をする。その他の外字は、線分等に分解し出力するようにする。 縦書きと横書きの括弧やハイフンのコードは同一のものを使用する。
9	線 種	別表 1 に定めた線種以外の使用はできない。それぞれの C A D で、近い線種、色に変換を行う。 線種は、今後の状況により追加されることがある。
1 0	レイヤ（画 層）	レイヤの番号と内容を別表 3 により規定する。完全に一致するレイヤがない場合は、近いものを使用する。表にないレイヤ番号をやむを得ず使用する場合は、3 桁の数字でなければならない。

番号	基本定義	内 容
1 1	画面表示色	別表 1 に定められた色番号以外は、使用できない。それぞれの C A D で近い色に変換を行う。
1 2	プロッタ ペン番号	プロッタペン番号の定義は行わないため、プロッタペン番号の受け渡しは、レイヤ・線種等により、それぞれの C A D のプロッタペン番号に変換するものとする。
1 3	定義記述方法	<p>定義は、定義文字と定義内容からなり、次の 4 種類がある。</p> <p>1 行で完結する定義  定義文字 = 定義内容</p> <p>複数行での定義  定義文字 : {  定義内容  }</p> <p>1 行と複数行が組合わさった定義  定義文字 = 定義内容 : {  定義内容  }</p> <p>未定義定義  定義文字 =</p>
1 4	注 釈 行	行の最初の文字が、「#」の場合は、その行を注釈行とし、変換時に無視をする。このとき行頭の空白は許されない。
1 5	座 標 系	<p>用紙（定義文字「size」で規定されているもの）の左下点を原点（0，0）とし、水平方向を X 軸、垂直方向を Y 軸にとり、それぞれ右方向・上方向がプラス方向とする。円弧及び楕円弧の中心座標を除いては、図形要素定義内に負の値が現れない。</p> <p>一般に用紙の周囲は、2 cm 程度の余白があるので、（0，0）から 2 cm 程度は、図形が表れないことになる。</p>
1 6	座標値の 表記方法	座標値の単位は m m とし、特に指定の無い場合は、縮尺を考慮した値とする。また、指数表記は使用できない。
1 7	角度の指定	角度の単位は D E G R E E とし、3 時の方向を 0 度とし、特に指定の無い場合は、反時計回りとする。数値の範囲は、0 ~ 3 6 0 とし、負の値や 3 6 0 より大きい値の指定はできない。
1 8	日付の指定	「YYYYMMDD」の 8 桁の数字を使用する。Y Y Y Y は西暦である。それぞれの値が 1 桁の場合には、0 を付加し 2 桁にする。

番号	基本定義	内 容
19	時間の指定	「HHMMSS」の6桁の数字を使用する。時間は24時間制を使用する。それぞれの値が1桁の場合には、0を付加し2桁にする。
20	マルチ ボリューム	マルチボリューム時のファイル分割位置は、シンボル定義中では、1つのシンボル定義中は不可とし、図形要素定義中では、1つの要素定義中は不可とする。また、中間ファイル属性・図面属性定義中は、分割できない。

## 第 4 章 中間ファイル属性定義

中間ファイルのレンジ・作成日時・変換ソフト名などの、中間ファイルに関する定義を行う。

「FILE\_FORMAT:{」と、「}」で囲まれた部分に定義をする。

中間ファイルがマルチボリューム（1つの図面で複数のファイルにまたがる）場合、定義文字の欄に「(\*)」が記入されている物は、2つめ以降のファイルにも定義しなければならない事を示す。1つめのファイルとシングルボリュームでは、全てを定義しなければならない。

番号	定義文字	定義内容																				
1	range	<p>中間ファイルの内容が、どのレンジに対応しているかを3桁の数字で定義する。「000」のものは、未対応を示す。</p> <p>それぞれのレンジの値の内容は、別表4による。また、指定のレンジで定義できる定義文字は、必ず定義しなければならない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>base</td> <td> <p>基本図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B_sym</td> <td> <p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】base=001:{     B_sym=001 }</p> </td> </tr> <tr> <td>arc</td> <td> <p>建築図形記述のレンジを定義する。 【例】arc=001</p> </td> </tr> <tr> <td>elec</td> <td> <p>電気図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に000または001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E_sym</td> <td> <p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_wire</td> <td> <p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_cirno</td> <td> <p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】elec=001:{     E_sym=001     E_wire=001     E_cirno=001 }</p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	base	<p>基本図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B_sym</td> <td> <p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】base=001:{     B_sym=001 }</p>	定義文字	定義内容	B_sym	<p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p>	arc	<p>建築図形記述のレンジを定義する。 【例】arc=001</p>	elec	<p>電気図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に000または001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E_sym</td> <td> <p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_wire</td> <td> <p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_cirno</td> <td> <p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】elec=001:{     E_sym=001     E_wire=001     E_cirno=001 }</p>	定義文字	定義内容	E_sym	<p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p>	E_wire	<p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p>	E_cirno	<p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p>
定義文字	定義内容																					
base	<p>基本図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B_sym</td> <td> <p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】base=001:{     B_sym=001 }</p>	定義文字	定義内容	B_sym	<p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p>																	
定義文字	定義内容																					
B_sym	<p>基本図形シンボル記述のレンジを定義する。 【例】B_sym=001</p>																					
arc	<p>建築図形記述のレンジを定義する。 【例】arc=001</p>																					
elec	<p>電気図形記述のレンジを定義する。 (現バージョンでは常に000または001)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E_sym</td> <td> <p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_wire</td> <td> <p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p> </td> </tr> <tr> <td>E_cirno</td> <td> <p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】elec=001:{     E_sym=001     E_wire=001     E_cirno=001 }</p>	定義文字	定義内容	E_sym	<p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p>	E_wire	<p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p>	E_cirno	<p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p>													
定義文字	定義内容																					
E_sym	<p>電気シンボル記述のレンジを定義する。 【例】E_sym=001</p>																					
E_wire	<p>電気配線記述のレンジを定義する。 【例】E_wire=001</p>																					
E_cirno	<p>電気回路番号記述のレンジを定義する。 【例】E_cirno=001</p>																					





番号	定義文字	定義内容
4	all_ele	<p>中間ファイル全体の図形要素数を定義する。マルチボリュームの場合は、全てのファイルの合計図形要素数となる。要素数のカウントは、図形定義内で、別表7における定義文字2の数である。</p> <p>【例】all_ele=1000</p>
5	this_ele (*)	<p>現在の中間ファイルの図形要素数を定義する。シングルボリュームの場合は、定義文字「all_ele」の定義内容と一致し、マルチボリュームの場合は、全てのファイルの合計が、「all_ele」の定義内容と一致する。</p> <p>【例】this_ele=1000</p>
6	next_file (*)	<p>現在のファイルの次に結合されるファイルの物理名称を定義する。シングルボリュームの場合と、マルチボリュームの最後のファイルでは、未定義定義とし、次に結合されるファイルが存在しない事を示す。このとき、ドライブ名・ディレクトリー・拡張子を指定してはいけない。</p> <p>【例】next_file=TEST2</p>
7	date (*)	<p>中間ファイルを作成した日付を定義する。これは、マルチボリューム時のIDとして使用するため、同一図面では、全て同じ定義内容とする。</p> <p>【例】date=19930501</p>
8	time (*)	<p>中間ファイルを作成した時間を定義する。これは、マルチボリューム時のIDとして使用するため、同一図面では、全て同じ定義内容とする。</p> <p>【例】time=173000</p>
9	cad	<p>図面を作成（変換）したCADの名称を定義する。出来る限りバージョンの記入も行う。</p> <p>20byte以内のアスキー文字とする。</p> <p>【例】cad=KDK-cad Ver1.01a</p>
10	os	<p>図面を作成（変換）したCADが動作しているOSの名称を定義する。出来る限りバージョンの記入も行う。</p> <p>20byte以内のアスキー文字とする。</p> <p>【例】os=MS-DOS Ver5.00</p>
11	hard	<p>図面を作成（変換）したCADが動作しているハードウェアの名称を定義する。</p> <p>20byte以内のアスキー文字とする。</p> <p>【例】hard=PC9821Ap/U2</p>

番号	定義文字	定義内容
1 2	ver	<p>図面を変換したコンバーターのバージョンを定義する。</p> <p>1 0 b y t e 以内のアスキー文字とする。</p> <p>【例】ver=1.00a</p>
1 3	corp	<p>図面を作成（変換）した会社名を定義する。</p> <p>4 0 b y t e 以内とする。</p> <p>未定義定義を可能とする。</p> <p>【例】corp= 電気工事株式会社</p>
1 4	make	<p>図面を作成（変換）した場所（支店・部署等）を定義する。</p> <p>4 0 b y t e 以内とする。</p> <p>未定義定義を可能とする。</p> <p>【例】make=東京支店CAD課</p>
1 5	tel	<p>図面を作成（変換）した場所の電話番号を定義する。</p> <p>内線番号のある場合には、括弧内に記入する。</p> <p>2 0 b y t e 以内の数字・ハイフン・括弧とする。</p> <p>未定義定義を可能とする。</p> <p>【例】tel=03-1234-5678(901)</p>
1 6	name	<p>中間ファイルを作成した人の氏名または責任者（連絡者）の氏名を定義する。</p> <p>2 0 b y t e 以内とする。</p> <p>未定義定義を可能とする。</p> <p>【例】name=山田 太郎</p>

【例 1】シングルボリュームの定義

```
FILE_FORMAT:{
  range:{
    base=001:{
      B_sym=001
    }
    arc=001
    elec=001:{
      E_sym=001
      E_wire=001
      E_cirno=001
    }
    air=000
    pipe=000
    sym=001:{
      S_base=001
      S_elec=001
    }
  }
  all_line=1000
  this_line=1000
  all_ele=1000
  this_ele=1000
  next_file=
  date=19930501
  time=173000
  cad=KDK-cad Ver1.01a
  os=MS-DOS Ver5.00
  hard=PC9821Ap/U2
  ver=1.00a
  corp=
  make=
  tel=
  name=
}
```

【例2】マルチボリュームの定義

(1つ目のファイル ファイル名: TEST.KDT)

```
FILE_FORMAT:{
  range:{
    base=001:{
      B_sym=001
    }
    arc=001
    elec=001:{
      E_sym=001
      E_wire=001
      E_cirno=001
    }
    air=000
    pipe=000
    sym=001:{
      S_base=001
      S_elec=001
    }
  }
  all_line=4000
  this_line=1500
  all_ele=3000
  this_ele=1200
  next_file=TEST2
  date=19930501
  time=173000
  cad=KDK-cad Ver1.01a
  os=MS-DOS Ver5.00
  hard=PC9821Ap/U2
  ver=1.00a
  corp= 電気工事株式会社
  make=東京支店CAD課
  tel=03-1234-5678(901)
  name=
}
```

(2つ目のファイル ファイル名: TEST2.KDT)

```
FILE_FORMAT:{
  this_line=1500
  this_ele=1200
  next_file=TEST3
  date=19930501
  time=173000
}
```

(3つ目(最後)のファイル ファイル名: TEST3.KDT)

```
FILE_FORMAT:{
  this_line=1000
  this_ele=600
  next_file=
  date=19930501
  time=173000
}
```

## 第 5 章 図面属性定義

中間ファイル上の図面の用紙サイズ・縮尺・図面名称などの、変換後にも図面の属性として使用する内容を定義する。

「DRAWING\_FORMAT:{」と、「}」で囲まれた部分に定義をする。

中間ファイルがマルチボリューム（1つの図面で複数のファイルにまたがる）の場合、2つめ以降のファイルでは、この章の定義は、いっさい行わない。1つめのファイルとシングルボリュームでは、全てを定義しなければならない。

番号	定義文字	定義内容
1	size	図面が作画されている用紙のサイズを定義する。 指定できるサイズは、JISのA版（A4，A3，A2，A1，A0[別表6]）とA1またはA0の整数を次乗した値の倍率のもの（A1×4、A1×9・・・、A0×4、A0×9・・・）である。 【例】size=4A1
2	scale	図面の縮尺を定義する。 縮尺の範囲に制限はない。 1より小さい縮尺は、分数で表現し、小数の使用はできない。 【例】scale=1/100
3	project	図面の現場名称を定義する。 60byte以内とする。 【例】project=中間ファイルビル新築工事
4	drawname	図面名称を定義する。 60byte以内とする。 【例】drawname=1階電灯設備図
5	date	図面を作成（最終更新）した日付を定義する。 【例】date=19921222
6	drawer	図面作成者の氏名を定義する。 20byte以内とする。 未定義定義を可能とする。 【例】drawer=山田 花子
7	layer_name	図面内で使用しているレイヤの番号と名称を定義する。ここで定義されたレイヤは、全て図形定義で使用されなければならない。また、ここで定義されていないレイヤを図面定義で使用する事は出来ない。 レイヤ名称は、20byte以内とする。 レイヤ名称は、未定義定義を可能とする。 レイヤ番号は、B・A・E・P・Mのアルファベットと000～999の数字を組み合わせたものしか使用できない。別表3に表記されている組み合わせを基本として使用するが、表記されていない組み合わせも可能とする。

番号	定義文字	定義内容
		<p>【例】 layer_name:{  B_001=図面枠  B_002=  A_101=通り芯  A_102=建築図  E_151=電灯シンボル  E_152=電灯配線  E_153=電灯文字  E_154=電灯寸法  }</p>
8	floor_height	<p>書かれている図面の階の階高さ（床の標準フロアラインと上階の標準フロアラインとの距離）を定義する。  これは、FILE_FORMATのrangeのarc定義が、「001」以上の時に定義する。  平面図以外や複数階にわたる図面で、それぞれの階高さが異なる場合は、「0」とし、不明な場合は未定義定義とする。  【例】 floor_height=4800</p>

【例】

```

DRAWING_FORMAT:{
  size=4A1
  scale=1/100
  project=中間ファイルビル新築工事
  drawname=1階電灯設備図
  date=19921222
  drawer=山田 花子
  floor_height=4800
  layer_name:{
    B_001=図面枠
    B_002=
    A_101=通り芯
    A_102=建築図
    E_151=電灯シンボル
    E_152=電灯配線
    E_153=電灯文字
    E_154=電灯寸法
  }
}

```

## 第 6 章 シンボル定義

電気シンボル・衛生陶器・配管継ぎ手などの設備図面には不可欠な部品の定義を行う。

「SYMBOL\_DEFINE:{」と、「}」で囲まれた部分に定義をする。

シンボル定義部分は、CAD毎にほとんど一定なので、外部ファイルを作成し複数の中間ファイルコンバートに利用する事が出来る。

シンボル定義の座標値は全て実寸で定義する。

シンボルの原点は、シンボルの中心とする。ただし、各団体の標準シンボルについては、標準シンボル仕様書に原点が明示されていれば、その位置を原点とする。

定義は、一般図形要素のみで行い、シンボルのネストは出来ない。

建設業CADデータ交換コンソーシアムで定められた、「電気設備標準シンボルコード仕様」シンボルは、「ACC@」に標準シンボルコードを付加したコードとする。シンボルコードは別表 8 参照。

番号	定義文字	定義内容						
1	B_symbol	<p>基本図形シンボルを定義する。 この定義は、定義文字「S_base」の定義内容が、「001」以上でなければ定義できない。 シンボル付加情報の定義はできない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>name</td> <td> <p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。 32byte以内の英数字とする。 ただし、特に支障がない場合は、16byte以下が望ましい。 【例】name=LINE01</p> </td> </tr> <tr> <td>element</td> <td> <p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。 element内の定義方法は、第8章の図形定義に準ずる。 【例】element:{           line=1307,-5,0,5,0           }</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】B_symbol:{     name=LINE01     element:{         line=1307,-5,0,5,0     } }</p>	定義文字	定義内容	name	<p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。 32byte以内の英数字とする。 ただし、特に支障がない場合は、16byte以下が望ましい。 【例】name=LINE01</p>	element	<p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。 element内の定義方法は、第8章の図形定義に準ずる。 【例】element:{           line=1307,-5,0,5,0           }</p>
定義文字	定義内容							
name	<p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。 32byte以内の英数字とする。 ただし、特に支障がない場合は、16byte以下が望ましい。 【例】name=LINE01</p>							
element	<p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。 element内の定義方法は、第8章の図形定義に準ずる。 【例】element:{           line=1307,-5,0,5,0           }</p>							
2	E_symbol	<p>電気シンボルの定義する。 この定義は、定義文字「S_elec」の定義内容が、「001」以上でなければ定義できない。 電気設備標準シンボルは、定義文字「S_elec」が「010」でなければ定義できない。ただし、標準シンボルも図形や属性は一般シンボルと同様に定義しなければならない。</p>						



番号	定義文字	定義内容								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1394 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 689">name</td> <td data-bbox="783 315 1394 689"> <p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。  3 2 b y t e 以内の英数字とする。  ただし、特に支障がない場合は、1 6 b y t e 以下が望ましい。  建設業 C A D データ交換コンソシアム標準シンボルは、ACC@+シンボルコードとする。シンボルコードは別表 8 参照。  【例】 name=LIGHT41  name=ACC@40051100300010&amp;&amp;00001010</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 689 783 1167">element</td> <td data-bbox="783 689 1394 1167"> <p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。  element内の定義方法は、図面定義に準ずる。  【例】  <pre> element:{   line=1307,-10,-1.5,-10,1.5   line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5   line=1307,1.323,1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5   line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1167 783 1977">hide</td> <td data-bbox="783 1167 1394 1977"> <p>配線とシンボルの接続部分を線や点で定義する。同時にシンボルに対して配線を記入しない部分（陰線領域）を意味する。  この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表 4 を参照する。  定義は、図面定義に準じ、直線・円（円弧）または点のみが使用できる。  線種は、ダミーであり意味を持たない。線での定義では閉じた図形でなければならない。  【例 1】点での定義  <pre> hide:{   point=1307,0,2   point=1307,0,-2   point=1307,-2,0   point=1307,2,0 } </pre> 【例 2】線での定義  <pre> hide:{   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	name	<p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。  3 2 b y t e 以内の英数字とする。  ただし、特に支障がない場合は、1 6 b y t e 以下が望ましい。  建設業 C A D データ交換コンソシアム標準シンボルは、ACC@+シンボルコードとする。シンボルコードは別表 8 参照。  【例】 name=LIGHT41  name=ACC@40051100300010&amp;&amp;00001010</p>	element	<p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。  element内の定義方法は、図面定義に準ずる。  【例】  <pre> element:{   line=1307,-10,-1.5,-10,1.5   line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5   line=1307,1.323,1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5   line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p>	hide	<p>配線とシンボルの接続部分を線や点で定義する。同時にシンボルに対して配線を記入しない部分（陰線領域）を意味する。  この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表 4 を参照する。  定義は、図面定義に準じ、直線・円（円弧）または点のみが使用できる。  線種は、ダミーであり意味を持たない。線での定義では閉じた図形でなければならない。  【例 1】点での定義  <pre> hide:{   point=1307,0,2   point=1307,0,-2   point=1307,-2,0   point=1307,2,0 } </pre> 【例 2】線での定義  <pre> hide:{   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p>
定義文字	定義内容									
name	<p>図面定義内で使用するシンボルの名称を定義する。  3 2 b y t e 以内の英数字とする。  ただし、特に支障がない場合は、1 6 b y t e 以下が望ましい。  建設業 C A D データ交換コンソシアム標準シンボルは、ACC@+シンボルコードとする。シンボルコードは別表 8 参照。  【例】 name=LIGHT41  name=ACC@40051100300010&amp;&amp;00001010</p>									
element	<p>シンボルを構成する全ての要素を定義する。  element内の定義方法は、図面定義に準ずる。  【例】  <pre> element:{   line=1307,-10,-1.5,-10,1.5   line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5   line=1307,1.323,1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,10,1.5   line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5   line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p>									
hide	<p>配線とシンボルの接続部分を線や点で定義する。同時にシンボルに対して配線を記入しない部分（陰線領域）を意味する。  この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表 4 を参照する。  定義は、図面定義に準じ、直線・円（円弧）または点のみが使用できる。  線種は、ダミーであり意味を持たない。線での定義では閉じた図形でなければならない。  【例 1】点での定義  <pre> hide:{   point=1307,0,2   point=1307,0,-2   point=1307,-2,0   point=1307,2,0 } </pre> 【例 2】線での定義  <pre> hide:{   circle=1307,0,0,2,0,360 } </pre> </p>									

番号	定義文字	定義内容				
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 824"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 824">wall</td> <td data-bbox="783 315 1396 824"> <p>壁と接触して作画されるシンボルの壁との接点を定義する。</p> <p>この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表4を参照する。</p> <p>シンボルの作画角度は、シンボルの原点と壁との接点（wallの定義内容）を結んだ直線と、接触する壁の線との角度が直角になる角度とする。</p> <p>壁に取り付けることの出来ないシンボルの場合は、未定義定義とする。</p> <p>【例1】壁取り付けの無い定義 wall=</p> <p>【例2】壁取り付けの有る定義 wall=0,-2</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="616 864 1098 891">【例1】レンジS_elec=001の場合</p> <pre data-bbox="616 898 1206 1503"> E_symbol:{   name=LIGHT41   element:{     line=1307,-10,-1.5,-10,1.5     line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5     line=1307,1.323,1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5     line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5     circle=1307,0,0,2,0,360   }   hide:{     point=1307,0,2     point=1307,0,-2     point=1307,-2,0     point=1307,2,0   } } </pre>	定義文字	定義内容	wall	<p>壁と接触して作画されるシンボルの壁との接点を定義する。</p> <p>この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表4を参照する。</p> <p>シンボルの作画角度は、シンボルの原点と壁との接点（wallの定義内容）を結んだ直線と、接触する壁の線との角度が直角になる角度とする。</p> <p>壁に取り付けることの出来ないシンボルの場合は、未定義定義とする。</p> <p>【例1】壁取り付けの無い定義 wall=</p> <p>【例2】壁取り付けの有る定義 wall=0,-2</p>
定義文字	定義内容					
wall	<p>壁と接触して作画されるシンボルの壁との接点を定義する。</p> <p>この定義内容は、定義文字「elec」（range定義内）の定義内容により異なる。詳しくは、別表4を参照する。</p> <p>シンボルの作画角度は、シンボルの原点と壁との接点（wallの定義内容）を結んだ直線と、接触する壁の線との角度が直角になる角度とする。</p> <p>壁に取り付けることの出来ないシンボルの場合は、未定義定義とする。</p> <p>【例1】壁取り付けの無い定義 wall=</p> <p>【例2】壁取り付けの有る定義 wall=0,-2</p>					

番号	定義文字	定義内容
		<p>【例2】レンジS_elec=002の場合</p> <pre> E_symbol:{   name=LIGHT41   element:{     line=1307,-10,-1.5,-10,1.5     line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5     line=1307,1.323,1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5     line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5     cirllce=1307,0,0,2,0,360   }   hide:{     point=1307,0,2     point=1307,0,-2     point=1307,-2,0     point=1307,2,0   }   wall= } </pre> <p>【例3】レンジS_elec=003の場合</p> <pre> E_symbol:{   name=LIGHT41   element:{     line=1307,-10,-1.5,-10,1.5     line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5     line=1307,1.323,1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,10,1.5     line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5     line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5     cirllce=1307,0,0,2,0,360   }   hide:{     cirllce=1307,0,0,2,0,360   }   wall= } </pre>
3	include	<p>複数の中間ファイルを変換するために、1つのシンボル定義ファイルを作成し、全ての変換に利用する事が出来る。</p> <p>ファイル名は、8文字以内の英数字とし、拡張子は3文字以内の英数字とする。指定は、拡張子まで行う。ドライブ名・ディレクトリーの定義は出来ない。</p> <p>【例】include=CONV.SYM</p>
4	NON	<p>シンボル定義が1つも存在しない場合に定義する。常に未定義定義とする。</p> <p>これが存在する場合は、SYMBOL_DEFINE内にこれ以外の定義が存在する事はない。</p> <p>【例】NON=</p>

**【例 1】** 中間ファイル内にシンボル定義をする場合

```
SYMBOL_DEFINE:{
  B_symbol:{
    name=LINE01
    element:{
      line=1307,-5,0,5,0
    }
  }
  B_symbol:{
    name=LINE02
    element:{
      line=1307,0,-5,0,5
    }
  }
  E_symbol:{
    name=LIGHT41
    element:{
      line=1307,-10,-1.5,-10,1.5
      line=1307,-10,1.5,-1.323,1.5
      line=1307,1.323,1.5,10,1.5
      line=1307,10,-1.5,10,1.5
      line=1307,10,-1.5,1.323,-1.5
      line=1307,-1.323,-1.5,-10,-1.5
      cirlice=1307,0,0,2,0,360
    }
    hide:{
      cirlice=1307,0,0,2,0,360
    }
    wall=
  }
}
```

**【例 2】** 外部ファイルを使用する場合

```
SYMBOL_DEFINE:{
  include=CONV.SYM
}
```

**【例 3】** シンボルがない場合

```
SYMBOL_DEFINE:{
  NON=
}
```

## 第 7 章 図形定義

実際の図形要素と、その要素が存在するレイヤ等を定義をする。  
「ELEMENT:{」と、「}」で囲まれた部分に定義をする。

図形要素自身は、「LAYER=レイヤ番号:{」と「}」で囲まれた部分に定義をする。

今後の課題として、塗りつぶし図形要素の追加を検討中である。

番号	定義文字	定義内容												
1	LAYER	<p>図形要素の記入されているレイヤ番号を定義する。 ここで指定できるレイヤ番号は、図面属性定義の定義文字「layer_name」の部分で定義されているものでなければならない。また、「layer_name」で定義されたものは、全てここで定義しなければならない。 同じレイヤ番号を複数定義する事は出来ない。 【例】 LAYER=E_151:{                   【図形要素定義】                   }</p>												
2	line	<p>直線を定義する。 始点と終点は同一座標ではいけない。 【定義方法】 line=線種,始点 X,始点 Y,終点 X,終点 Y</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。</td> </tr> <tr> <td>始点 X</td> <td>直線の始点の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td>始点 Y</td> <td>直線の始点の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td>終点 X</td> <td>直線の終点の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td>終点 Y</td> <td>直線の終点の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】 line=1307,1234.56,0,6543.21,0</p>	パラメータ	定義内容	線種	別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。	始点 X	直線の始点の X 座標の値を定義する。	始点 Y	直線の始点の Y 座標の値を定義する。	終点 X	直線の終点の X 座標の値を定義する。	終点 Y	直線の終点の Y 座標の値を定義する。
パラメータ	定義内容													
線種	別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。													
始点 X	直線の始点の X 座標の値を定義する。													
始点 Y	直線の始点の Y 座標の値を定義する。													
終点 X	直線の終点の X 座標の値を定義する。													
終点 Y	直線の終点の Y 座標の値を定義する。													
3	circle	<p>円（円弧）を定義する。 円弧の場合、作画される部分が作画領域内であれば中心座標は、作画領域外でも良い。 【定義方法】 circle=線種,中心 X,中心 Y,半径,                   始角,終角,回転方向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。</td> </tr> <tr> <td>中心 X</td> <td>円（円弧）の中心の X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>中心 Y</td> <td>円（円弧）の中心の Y 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>半径</td> <td>円（円弧）の半径値を定義する。</td> </tr> <tr> <td>始角</td> <td>円（円弧）の開始角度を定義する。 完全円の場合は、「0」とする。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線種	別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。	中心 X	円（円弧）の中心の X 座標を定義する。	中心 Y	円（円弧）の中心の Y 座標を定義する。	半径	円（円弧）の半径値を定義する。	始角	円（円弧）の開始角度を定義する。 完全円の場合は、「0」とする。
パラメータ	定義内容													
線種	別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。													
中心 X	円（円弧）の中心の X 座標を定義する。													
中心 Y	円（円弧）の中心の Y 座標を定義する。													
半径	円（円弧）の半径値を定義する。													
始角	円（円弧）の開始角度を定義する。 完全円の場合は、「0」とする。													

番号	定義文字	定義内容																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>終角</td> <td>円（円弧）の終了角度を定義する。完全円の場合は、「360」とする。</td> </tr> <tr> <td>回転方向</td> <td>始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全円の場合は、どちらの定義も同意となる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例1】完全円 circle=1307,10,10,1,0,360,0</p> <p>【例2】円弧 circle=1307,10,10,1,10,30,1</p>	定義文字	定義内容	終角	円（円弧）の終了角度を定義する。完全円の場合は、「360」とする。	回転方向	始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全円の場合は、どちらの定義も同意となる。														
定義文字	定義内容																					
終角	円（円弧）の終了角度を定義する。完全円の場合は、「360」とする。																					
回転方向	始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全円の場合は、どちらの定義も同意となる。																					
4	ellipse	<p>楕円（楕円弧）を定義する。 長径は、短径よりも長くなくてはならない。 楕円弧の場合、作画される部分が作画領域内であれば中心座標は、作画領域外でも良い。</p> <p>【定義方法】 ellipse=線種, 中心X, 中心Y, 長径, 短径, 始角, 終角, 配置角度, 回転方向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。</td> </tr> <tr> <td>中心X</td> <td>楕円（楕円弧）の中心のX座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>中心Y</td> <td>楕円（楕円弧）の中心のY座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>長径</td> <td>楕円（楕円弧）の長径値を定義する</td> </tr> <tr> <td>短径</td> <td>楕円（楕円弧）の短径値を定義する</td> </tr> <tr> <td>始角</td> <td>楕円（楕円弧）の開始角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「0」とする。</td> </tr> <tr> <td>終角</td> <td>楕円（楕円弧）の終了角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「360」とする。</td> </tr> <tr> <td>配置角度</td> <td>長径が、水平の時を0度とし、定義する。</td> </tr> <tr> <td>回転方向</td> <td>始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全楕円の場合はどちらの定義も同意となる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】ellipse=1307,0,0,100,20,110,180,30,0</p>	パラメータ	定義内容	線種	別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。	中心X	楕円（楕円弧）の中心のX座標を定義する。	中心Y	楕円（楕円弧）の中心のY座標を定義する。	長径	楕円（楕円弧）の長径値を定義する	短径	楕円（楕円弧）の短径値を定義する	始角	楕円（楕円弧）の開始角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「0」とする。	終角	楕円（楕円弧）の終了角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「360」とする。	配置角度	長径が、水平の時を0度とし、定義する。	回転方向	始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全楕円の場合はどちらの定義も同意となる。
パラメータ	定義内容																					
線種	別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。																					
中心X	楕円（楕円弧）の中心のX座標を定義する。																					
中心Y	楕円（楕円弧）の中心のY座標を定義する。																					
長径	楕円（楕円弧）の長径値を定義する																					
短径	楕円（楕円弧）の短径値を定義する																					
始角	楕円（楕円弧）の開始角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「0」とする。																					
終角	楕円（楕円弧）の終了角度を配置角度が0度の時の角度とし、定義する。完全楕円の場合は、「360」とする。																					
配置角度	長径が、水平の時を0度とし、定義する。																					
回転方向	始角から終角への回転方向を数値で指定する。「0」を反時計回り、「1」を時計回りとする。完全楕円の場合はどちらの定義も同意となる。																					
5	point	<p>点を定義する。 画面表示の形状は、それぞれのCADによる。</p> <p>【定義方法】 point=線種, 座標X, 座標Y</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線種	別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。																
パラメータ	定義内容																					
線種	別表1の内容に従い、4桁の数値で定義する。																					

番号	定義文字	定義内容										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>座標 X</td> <td>点の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td>座標 Y</td> <td>点の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】 point=1307,1234.56,0</p>	パラメータ	定義内容	座標 X	点の X 座標の値を定義する。	座標 Y	点の Y 座標の値を定義する。				
パラメータ	定義内容											
座標 X	点の X 座標の値を定義する。											
座標 Y	点の Y 座標の値を定義する。											
6	successive	<p>連続直線を定義する。  点の定義を複数行い、それぞれを直線で結ぶ。  始めの点が一本目の直線の始点となり、二番目の点  が、一本目の直線の終点と二本目の直線の始点とな  る。  最初の点定義の線種が、全体の線種として定義され  二番目以降の点の線種は、ダミーとなる。  直線の本数は、2～99本（点の本数が3～100）と  する。なお、この上限は、検討中である。</p> <p>【例】 successive:{  point=1307,0,0  point=1307,30,20  point=1307,50,5  point=1307,70,15  }</p>										
7	text	<p>文字列を定義する。  文字には、均等割付・プロポーションナルピッチ・行  間隔・文字修飾など多くの機能が考えられるが、これ  らは今後の検討事項とし、本バージョンには定義し  ていない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>type</td> <td> <p>文字列の属性定義をする。  読み込み時に文字の幅や間隔が完全  に取り込めない場合は、文字全体の幅  を合わせるようにする。全体幅は、  「(文字のバイト数 - 1) × 文字間隔  + 文字幅」とする。  【定義方法】  type=線種, 配置座標 X, 配置座標 Y,  文字幅, 文字高, 文字間隔,  配置角度, 縦横書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表 1 の内容に従  い、4桁の数値で定義  する。</td> </tr> <tr> <td>配置座標 X</td> <td>文字列を配置する位  置の X 座標の値を定義  する。座標値は、横書  きでは左下点、縦書き  では左上点となる。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	type	<p>文字列の属性定義をする。  読み込み時に文字の幅や間隔が完全  に取り込めない場合は、文字全体の幅  を合わせるようにする。全体幅は、  「(文字のバイト数 - 1) × 文字間隔  + 文字幅」とする。  【定義方法】  type=線種, 配置座標 X, 配置座標 Y,  文字幅, 文字高, 文字間隔,  配置角度, 縦横書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表 1 の内容に従  い、4桁の数値で定義  する。</td> </tr> <tr> <td>配置座標 X</td> <td>文字列を配置する位  置の X 座標の値を定義  する。座標値は、横書  きでは左下点、縦書き  では左上点となる。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線種	別表 1 の内容に従 い、4桁の数値で定義 する。	配置座標 X	文字列を配置する位 置の X 座標の値を定義 する。座標値は、横書 きでは左下点、縦書き では左上点となる。
定義文字	定義内容											
type	<p>文字列の属性定義をする。  読み込み時に文字の幅や間隔が完全  に取り込めない場合は、文字全体の幅  を合わせるようにする。全体幅は、  「(文字のバイト数 - 1) × 文字間隔  + 文字幅」とする。  【定義方法】  type=線種, 配置座標 X, 配置座標 Y,  文字幅, 文字高, 文字間隔,  配置角度, 縦横書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線種</td> <td>別表 1 の内容に従  い、4桁の数値で定義  する。</td> </tr> <tr> <td>配置座標 X</td> <td>文字列を配置する位  置の X 座標の値を定義  する。座標値は、横書  きでは左下点、縦書き  では左上点となる。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線種	別表 1 の内容に従 い、4桁の数値で定義 する。	配置座標 X	文字列を配置する位 置の X 座標の値を定義 する。座標値は、横書 きでは左下点、縦書き では左上点となる。					
パラメータ	定義内容											
線種	別表 1 の内容に従 い、4桁の数値で定義 する。											
配置座標 X	文字列を配置する位 置の X 座標の値を定義 する。座標値は、横書 きでは左下点、縦書き では左上点となる。											

番号	定義文字	定義内容																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1394 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 349">パラメータ</td> <td data-bbox="783 315 1394 349">定義内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 349 783 555">配置座標 Y</td> <td data-bbox="783 349 1394 555">文字列を配置する位置のY座標の値を定義する。座標値は、横書きでは左下点、縦書きでは左上点となる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 555 783 723">文字幅</td> <td data-bbox="783 555 1394 723">半角文字の横幅を実寸で定義する。全角文字の横幅は、半角文字の2倍とする。0は不可である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 723 783 824">文字高</td> <td data-bbox="783 723 1394 824">文字の高さを実寸で定義する。0は不可である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 824 783 1128">文字間隔</td> <td data-bbox="783 824 1394 1128">隣り合わせる文字との同一位置間の距離を実寸で定義する。 この値が、横書きの場合、文字幅より小さいと文字が重なり、縦書きの場合、文字高より小さいと文字が重なる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1128 783 1402">配置角度</td> <td data-bbox="783 1128 1394 1402">文字列全体の角度を定義する。 横書きの時、左から右へが0度となり、縦書きの時、上から下が0度となる。 回転は、配置座標を中心として行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1402 783 1541">縦横書</td> <td data-bbox="783 1402 1394 1541">横書き、縦書きの種別を数値で定義する。 「0」を横書き、「1」を縦書きとする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1541 783 1675">【例】</td> <td data-bbox="783 1541 1394 1675">type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1675 783 1877">character</td> <td data-bbox="783 1675 1394 1877">文字列を定義する。 「=」から「」までを文字列として認識する。 文字数は、1～200byte。 【例】 character=中間ファイル</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1877 783 2056">【例】</td> <td data-bbox="783 1877 1394 2056"> <pre> text:{   type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0   character=中間ファイル } </pre> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	パラメータ	定義内容	配置座標 Y	文字列を配置する位置のY座標の値を定義する。座標値は、横書きでは左下点、縦書きでは左上点となる。	文字幅	半角文字の横幅を実寸で定義する。全角文字の横幅は、半角文字の2倍とする。0は不可である。	文字高	文字の高さを実寸で定義する。0は不可である。	文字間隔	隣り合わせる文字との同一位置間の距離を実寸で定義する。 この値が、横書きの場合、文字幅より小さいと文字が重なり、縦書きの場合、文字高より小さいと文字が重なる。	配置角度	文字列全体の角度を定義する。 横書きの時、左から右へが0度となり、縦書きの時、上から下が0度となる。 回転は、配置座標を中心として行う。	縦横書	横書き、縦書きの種別を数値で定義する。 「0」を横書き、「1」を縦書きとする。	【例】	type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0	character	文字列を定義する。 「=」から「」までを文字列として認識する。 文字数は、1～200byte。 【例】 character=中間ファイル	【例】	<pre> text:{   type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0   character=中間ファイル } </pre>
定義文字	定義内容																							
パラメータ	定義内容																							
配置座標 Y	文字列を配置する位置のY座標の値を定義する。座標値は、横書きでは左下点、縦書きでは左上点となる。																							
文字幅	半角文字の横幅を実寸で定義する。全角文字の横幅は、半角文字の2倍とする。0は不可である。																							
文字高	文字の高さを実寸で定義する。0は不可である。																							
文字間隔	隣り合わせる文字との同一位置間の距離を実寸で定義する。 この値が、横書きの場合、文字幅より小さいと文字が重なり、縦書きの場合、文字高より小さいと文字が重なる。																							
配置角度	文字列全体の角度を定義する。 横書きの時、左から右へが0度となり、縦書きの時、上から下が0度となる。 回転は、配置座標を中心として行う。																							
縦横書	横書き、縦書きの種別を数値で定義する。 「0」を横書き、「1」を縦書きとする。																							
【例】	type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0																							
character	文字列を定義する。 「=」から「」までを文字列として認識する。 文字数は、1～200byte。 【例】 character=中間ファイル																							
【例】	<pre> text:{   type=1307,10,0,1.5,3,3,0,0   character=中間ファイル } </pre>																							



番号	定義文字	定義内容																		
8	measuer	<p>寸法（寸法線、寸法値）を定義する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>type</td> <td> <p>寸法の矢印の形を定義をする。            矢印の形は、それぞれのCADによる。            矢印の記入する位置は、定義文字「pul」と「line」の交点とする。  <b>【定義方法】</b>            type=矢印形, 矢印方向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td> <p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>矢印方向</td> <td> <p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【例】</b>            type=1,2</p> </td> </tr> <tr> <td>pul</td> <td> <p>寸法補助線（寸法引き出し線）を定義する。            定義出来る数は、2～100本。            全ての寸法補助線は、平行でなければならない。            補助線の無い場合は、始端と終端を同一座標とし、この座標は、寸法線上でなければならない。  <b>【定義方法】</b>            pul=番号, 始端X, 始端Y, 終端X, 終端Y</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>寸法値と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> <tr> <td>始端X</td> <td>始端のX座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	type	<p>寸法の矢印の形を定義をする。            矢印の形は、それぞれのCADによる。            矢印の記入する位置は、定義文字「pul」と「line」の交点とする。  <b>【定義方法】</b>            type=矢印形, 矢印方向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td> <p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>矢印方向</td> <td> <p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【例】</b>            type=1,2</p>	パラメータ	定義内容	矢印形	<p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p>	矢印方向	<p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p>	pul	<p>寸法補助線（寸法引き出し線）を定義する。            定義出来る数は、2～100本。            全ての寸法補助線は、平行でなければならない。            補助線の無い場合は、始端と終端を同一座標とし、この座標は、寸法線上でなければならない。  <b>【定義方法】</b>            pul=番号, 始端X, 始端Y, 終端X, 終端Y</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>寸法値と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> <tr> <td>始端X</td> <td>始端のX座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	番号	寸法値と関連付ける為の番号を定義する。	始端X	始端のX座標の値を定義する。
定義文字	定義内容																			
type	<p>寸法の矢印の形を定義をする。            矢印の形は、それぞれのCADによる。            矢印の記入する位置は、定義文字「pul」と「line」の交点とする。  <b>【定義方法】</b>            type=矢印形, 矢印方向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td> <p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>矢印方向</td> <td> <p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【例】</b>            type=1,2</p>	パラメータ	定義内容	矢印形	<p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p>	矢印方向	<p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p>													
パラメータ	定義内容																			
矢印形	<p>寸法線端部の矢印の形を数値で定義する。            「0」を矢印無し            「1」を黒丸            「2」を矢印とする。</p>																			
矢印方向	<p>矢印形の方角を数値で定義する。            「1」を外向き            「2」を内向きとする。            矢印形の定義が、「2」以外の場合は、意味を持たない。            また、定義文字「pul」が3本以上定義されている場合は、「2」は定義できない。</p>																			
pul	<p>寸法補助線（寸法引き出し線）を定義する。            定義出来る数は、2～100本。            全ての寸法補助線は、平行でなければならない。            補助線の無い場合は、始端と終端を同一座標とし、この座標は、寸法線上でなければならない。  <b>【定義方法】</b>            pul=番号, 始端X, 始端Y, 終端X, 終端Y</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>寸法値と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> <tr> <td>始端X</td> <td>始端のX座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	番号	寸法値と関連付ける為の番号を定義する。	始端X	始端のX座標の値を定義する。													
パラメータ	定義内容																			
番号	寸法値と関連付ける為の番号を定義する。																			
始端X	始端のX座標の値を定義する。																			

番号	定義文字	定義内容																						
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 315"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 349"></td> <td data-bbox="783 315 1396 349"> <table border="1" data-bbox="815 349 1364 383"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 450">始端 Y</td> <td data-bbox="983 383 1364 450">始端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 450 983 517">終端 X</td> <td data-bbox="983 450 1364 517">終端の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 517 983 584">終端 Y</td> <td data-bbox="983 517 1364 584">終端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 584 783 719"></td> <td data-bbox="783 584 1396 719"> <p>【例】 pul=1,50,50,50,100</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 719 783 1133">line</td> <td data-bbox="783 719 1396 1133"> <p>寸法線を定義する。 定義の方法は、定義文字「line」の直線と同様である。 寸法補助線(pul)が2本の場合は、寸法線は2本まで定義する事が可能であるが、全ての寸法線は一直線上に存在しなければならない。また、寸法補助線が3本以上の場合は、1本しか定義出来ない。 寸法補助線と寸法線は直交しなくてもよい。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1133 783 1984">text</td> <td data-bbox="783 1133 1396 1984"> <p>寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」と同様とするが、対応する番号を定義しなければならない。寸法値の存在しない寸法の場合は、「番号」のみを定義する。</p> <p>【定義方法】 text=番号:{     定義文字「text」と同様 }</p> <table border="1" data-bbox="815 1536 1364 1570"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1536 983 1570">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1536 1364 1570">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1570 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1570 1364 1671">寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例1】寸法値の有る場合 text=1:{     type=1307,65,105,5,6,6,0,0     character=70 }</p> <p>【例2】寸法値の無い場合 text=1</p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<table border="1" data-bbox="815 349 1364 383"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 450">始端 Y</td> <td data-bbox="983 383 1364 450">始端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 450 983 517">終端 X</td> <td data-bbox="983 450 1364 517">終端の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 517 983 584">終端 Y</td> <td data-bbox="983 517 1364 584">終端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	始端 Y	始端の Y 座標の値を定義する。	終端 X	終端の X 座標の値を定義する。	終端 Y	終端の Y 座標の値を定義する。		<p>【例】 pul=1,50,50,50,100</p>	line	<p>寸法線を定義する。 定義の方法は、定義文字「line」の直線と同様である。 寸法補助線(pul)が2本の場合は、寸法線は2本まで定義する事が可能であるが、全ての寸法線は一直線上に存在しなければならない。また、寸法補助線が3本以上の場合は、1本しか定義出来ない。 寸法補助線と寸法線は直交しなくてもよい。</p>	text	<p>寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」と同様とするが、対応する番号を定義しなければならない。寸法値の存在しない寸法の場合は、「番号」のみを定義する。</p> <p>【定義方法】 text=番号:{     定義文字「text」と同様 }</p> <table border="1" data-bbox="815 1536 1364 1570"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1536 983 1570">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1536 1364 1570">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1570 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1570 1364 1671">寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例1】寸法値の有る場合 text=1:{     type=1307,65,105,5,6,6,0,0     character=70 }</p> <p>【例2】寸法値の無い場合 text=1</p>	パラメータ	定義内容	番号	寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。
定義文字	定義内容																							
	<table border="1" data-bbox="815 349 1364 383"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 450">始端 Y</td> <td data-bbox="983 383 1364 450">始端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 450 983 517">終端 X</td> <td data-bbox="983 450 1364 517">終端の X 座標の値を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 517 983 584">終端 Y</td> <td data-bbox="983 517 1364 584">終端の Y 座標の値を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	始端 Y	始端の Y 座標の値を定義する。	終端 X	終端の X 座標の値を定義する。	終端 Y	終端の Y 座標の値を定義する。															
パラメータ	定義内容																							
始端 Y	始端の Y 座標の値を定義する。																							
終端 X	終端の X 座標の値を定義する。																							
終端 Y	終端の Y 座標の値を定義する。																							
	<p>【例】 pul=1,50,50,50,100</p>																							
line	<p>寸法線を定義する。 定義の方法は、定義文字「line」の直線と同様である。 寸法補助線(pul)が2本の場合は、寸法線は2本まで定義する事が可能であるが、全ての寸法線は一直線上に存在しなければならない。また、寸法補助線が3本以上の場合は、1本しか定義出来ない。 寸法補助線と寸法線は直交しなくてもよい。</p>																							
text	<p>寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」と同様とするが、対応する番号を定義しなければならない。寸法値の存在しない寸法の場合は、「番号」のみを定義する。</p> <p>【定義方法】 text=番号:{     定義文字「text」と同様 }</p> <table border="1" data-bbox="815 1536 1364 1570"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1536 983 1570">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1536 1364 1570">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1570 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1570 1364 1671">寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例1】寸法値の有る場合 text=1:{     type=1307,65,105,5,6,6,0,0     character=70 }</p> <p>【例2】寸法値の無い場合 text=1</p>	パラメータ	定義内容	番号	寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。																			
パラメータ	定義内容																							
番号	寸法補助線と関連付ける為の番号を定義する。																							

番号	定義文字	定義内容				
		<p>【例】</p> <pre>measuer:{   type=2,1   pul=1,50,50,50,100   pul=2,120,50,120,100   line=1307,50,100,120,100   text=1:{     type=1307,65,105,5,6,6,0,0     character=70   } }</pre>				
9	spline	<p>自由曲線（スプライン）を定義する。  通過点を定義文字「point」に従い定義し、それぞれで曲線計算を行う。曲線の計算方法はそれぞれのCADによるが、基本的には、スプライン曲線の計算方法を使用する。  通過点の数は、5～100の範囲とする。  最初の点の線種を曲線全体の線種とし、2つ目以降の線種は、ダミーとする。  最初の点と最後の点の座標が一致する場合には、閉じた曲線として曲線計算をする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>point</td> <td>自由曲線の通過点を定義文字「point」の点定義と同様に行う</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】</p> <pre>spline:{   point=1307,0,10   point=1307,30,10   point=1307,55,5   point=1307,80,3   point=1307,120,40   point=1307,130,35 }</pre>	定義文字	定義内容	point	自由曲線の通過点を定義文字「point」の点定義と同様に行う
定義文字	定義内容					
point	自由曲線の通過点を定義文字「point」の点定義と同様に行う					
10	pulline	<p>引き出し線（引き出し線寸法）を定義する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>type</td> <td> <p>引き出し線先端の矢印の形を定義をする。  矢印形が1と2の場合は、矢印の形は、それぞれのCADによる。  矢印形が3・4・5の場合の矢印長と矢印間隔の値が「0」であってはならない。</p> <p>【定義方法】  type=矢印形,矢印長,矢印間隔</p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	type	<p>引き出し線先端の矢印の形を定義をする。  矢印形が1と2の場合は、矢印の形は、それぞれのCADによる。  矢印形が3・4・5の場合の矢印長と矢印間隔の値が「0」であってはならない。</p> <p>【定義方法】  type=矢印形,矢印長,矢印間隔</p>
定義文字	定義内容					
type	<p>引き出し線先端の矢印の形を定義をする。  矢印形が1と2の場合は、矢印の形は、それぞれのCADによる。  矢印形が3・4・5の場合の矢印長と矢印間隔の値が「0」であってはならない。</p> <p>【定義方法】  type=矢印形,矢印長,矢印間隔</p>					

番号	定義文字	定義内容																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td>引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。</td> </tr> <tr> <td>矢印長</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> <tr> <td>矢印間隔</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>succe- ssive</td> <td>引き出し線の通過点を定義する。 定義の方法は、定義文字「successive」の連続直線と同様とする。 通過点の数は、2～20とする。 矢印の向きは、1点目から2点目の方向となる。</td> </tr> <tr> <td>text</td> <td>寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」の文字列と同様とする。 引き出し線に文字が付属していない場合は、未定義定義とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】</p> <pre>pulline:{   type=2,0,0   successive:{     point=1307,10,10     point=1307,50,50     point=1307,150,50   }   text= }</pre>	定義文字	定義内容		<table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td>引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。</td> </tr> <tr> <td>矢印長</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> <tr> <td>矢印間隔</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	矢印形	引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。	矢印長	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。	矢印間隔	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。	succe- ssive	引き出し線の通過点を定義する。 定義の方法は、定義文字「successive」の連続直線と同様とする。 通過点の数は、2～20とする。 矢印の向きは、1点目から2点目の方向となる。	text	寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」の文字列と同様とする。 引き出し線に文字が付属していない場合は、未定義定義とする。
定義文字	定義内容																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>矢印形</td> <td>引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。</td> </tr> <tr> <td>矢印長</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> <tr> <td>矢印間隔</td> <td>矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	矢印形	引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。	矢印長	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。	矢印間隔	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。									
パラメータ	定義内容																	
矢印形	引き出し線先端の矢印の形状を数値で定義する。 「0」が矢印無し 「1」が黒丸 「2」が矢印 「3」が四角 「4」が二本線 「5」が半円である。																	
矢印長	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の長さを定義する。このとき0は不可である。																	
矢印間隔	矢印形が「3」～「5」の場合の矢印部分の間隔を定義する。このとき0は不可である。																	
succe- ssive	引き出し線の通過点を定義する。 定義の方法は、定義文字「successive」の連続直線と同様とする。 通過点の数は、2～20とする。 矢印の向きは、1点目から2点目の方向となる。																	
text	寸法値を定義する。 定義の方法は、定義文字「text」の文字列と同様とする。 引き出し線に文字が付属していない場合は、未定義定義とする。																	
1 1	hacchi	ハッチング（塗りつぶし）の定義をする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>type</td> <td>ハッチングの種類等を定義する。 【定義方法】 type=線種,種別,角度</td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	type	ハッチングの種類等を定義する。 【定義方法】 type=線種,種別,角度												
定義文字	定義内容																	
type	ハッチングの種類等を定義する。 【定義方法】 type=線種,種別,角度																	

番号	定義文字	定義内容	
		定義文字	定義内容
	パラメータ	定義内容	
線種	別表 1 の内容に従い、4 桁の数値で定義する。		
種別	<p>ハッチングの種類形状の種別を数値で定義する。数値は、</p> <p>「1」 1 方向  「2」 2 方向直角  「3」 2 方向反転である。</p> <p>2 方向直角は、書き出し点(point)を中心とし、左回りに 90 度回転したものである。  2 方向反転は、書き出し点を通る水平線に対して反転したものである。</p>		
角度	<p>ハッチングの線の角度を定義する。</p> <p>種別が、「2」の場合、1つの線が指定の角度となり、もう1つの線が、これに直角となる。種別が「3」の場合、1つの線が指定の角度となり、もう1つの線がこれと水平線に対して反転した角度となる。</p> <p>種別が「3」の時 0・90・180・270・360度の定義は出来ない。</p>		
area	<p>【例】 type=1307,1,45</p> <p>ハッチングを行う範囲を定義する。定義は、円(円弧)と直線のみで行う。</p> <p>ある要素の終端座標と次の要素の始端座標は、一致しなければならない。また、一番目の要素の始端座標と最後の要素の終端座標も一致しなければならない。</p> <p>それぞれの要素は交差してはならない。</p> <p>それぞれの要素の線種は、ダミーとなる。</p>		

番号	定義文字	定義内容										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1394 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 622"></td> <td data-bbox="783 315 1394 622"> <p>要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>area:{   line=1307,10,10,10,50   line=1307,10,50,50,50   line=1307,50,50,50,10   line=1307,50,10,10,10 }</pre> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 622 783 1503">holl</td> <td data-bbox="783 622 1394 1503"> <p>ハッチング領域内で、ハッチングを行わない部分（島）を定義する。</p> <p>定義は、円（円弧）と直線のみで行う。</p> <p>ある要素の終端座標と次の要素の始端座標は、一致しなければならない。また、一番目の要素の始端座標と最後の要素の終端座標も一致しなければならない。</p> <p>それぞれの要素は、交差してはならない。また、島同士に重複する領域が存在してはならない。</p> <p>島領域は全て「area」の領域内に含まなければならない。</p> <p>それぞれの要素の線種は、ダミーとなる。</p> <p>島の合計は20とし、全ての島の要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>holl:{   line=1307,15,15,15,45   line=1307,15,45,45,45   line=1307,45,45,45,15   line=1307,45,15,15,15 }</pre> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1503 783 1776">pitch</td> <td data-bbox="783 1503 1394 1776"> <p>ハッチングの線の間隔を定義する。</p> <p>値は、5つまで定義でき、1つの場合は、全ての間隔が等しい事を示し、2つ以上の場合は、複数の間隔を繰り返す事を示す。</p> <p>【例】</p> <pre>pitch=5,5,10</pre> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1776 783 2011">point</td> <td data-bbox="783 1776 1394 2011"> <p>点定義と同様に定義する。</p> <p>線種はダミーである。</p> <p>ここで定義された点を塗りつぶし線の書き出し位置とする。この点より、角度が0度の時は上方向、それ以外の角度の時は、右方向にpitchで指定された間隔で線を書く。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<p>要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>area:{   line=1307,10,10,10,50   line=1307,10,50,50,50   line=1307,50,50,50,10   line=1307,50,10,10,10 }</pre>	holl	<p>ハッチング領域内で、ハッチングを行わない部分（島）を定義する。</p> <p>定義は、円（円弧）と直線のみで行う。</p> <p>ある要素の終端座標と次の要素の始端座標は、一致しなければならない。また、一番目の要素の始端座標と最後の要素の終端座標も一致しなければならない。</p> <p>それぞれの要素は、交差してはならない。また、島同士に重複する領域が存在してはならない。</p> <p>島領域は全て「area」の領域内に含まなければならない。</p> <p>それぞれの要素の線種は、ダミーとなる。</p> <p>島の合計は20とし、全ての島の要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>holl:{   line=1307,15,15,15,45   line=1307,15,45,45,45   line=1307,45,45,45,15   line=1307,45,15,15,15 }</pre>	pitch	<p>ハッチングの線の間隔を定義する。</p> <p>値は、5つまで定義でき、1つの場合は、全ての間隔が等しい事を示し、2つ以上の場合は、複数の間隔を繰り返す事を示す。</p> <p>【例】</p> <pre>pitch=5,5,10</pre>	point	<p>点定義と同様に定義する。</p> <p>線種はダミーである。</p> <p>ここで定義された点を塗りつぶし線の書き出し位置とする。この点より、角度が0度の時は上方向、それ以外の角度の時は、右方向にpitchで指定された間隔で線を書く。</p>
定義文字	定義内容											
	<p>要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>area:{   line=1307,10,10,10,50   line=1307,10,50,50,50   line=1307,50,50,50,10   line=1307,50,10,10,10 }</pre>											
holl	<p>ハッチング領域内で、ハッチングを行わない部分（島）を定義する。</p> <p>定義は、円（円弧）と直線のみで行う。</p> <p>ある要素の終端座標と次の要素の始端座標は、一致しなければならない。また、一番目の要素の始端座標と最後の要素の終端座標も一致しなければならない。</p> <p>それぞれの要素は、交差してはならない。また、島同士に重複する領域が存在してはならない。</p> <p>島領域は全て「area」の領域内に含まなければならない。</p> <p>それぞれの要素の線種は、ダミーとなる。</p> <p>島の合計は20とし、全ての島の要素の合計は、500要素以内とする。</p> <p>【例】</p> <pre>holl:{   line=1307,15,15,15,45   line=1307,15,45,45,45   line=1307,45,45,45,15   line=1307,45,15,15,15 }</pre>											
pitch	<p>ハッチングの線の間隔を定義する。</p> <p>値は、5つまで定義でき、1つの場合は、全ての間隔が等しい事を示し、2つ以上の場合は、複数の間隔を繰り返す事を示す。</p> <p>【例】</p> <pre>pitch=5,5,10</pre>											
point	<p>点定義と同様に定義する。</p> <p>線種はダミーである。</p> <p>ここで定義された点を塗りつぶし線の書き出し位置とする。この点より、角度が0度の時は上方向、それ以外の角度の時は、右方向にpitchで指定された間隔で線を書く。</p>											

番号	定義文字	定義内容				
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 421"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 421"></td> <td data-bbox="783 315 1396 421"> <b>【例】</b>  point=1307,10,10 </td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="616 454 1109 1059"> <b>【例】</b>  hacchi:{    type=1307,1,45    area:{      line=1307,10,10,10,50      line=1307,10,50,50,50      line=1307,50,50,50,10      line=1307,50,10,10,10    }    holl:{      line=1307,15,15,15,45      line=1307,15,45,45,45      line=1307,45,45,45,15      line=1307,45,15,15,15    }    pitch=5,5,10    point=1307,10,10  } </p>	定義文字	定義内容		<b>【例】</b> point=1307,10,10
定義文字	定義内容					
	<b>【例】</b> point=1307,10,10					

番号	定義文字	定義内容				
3 1	A_construct	<p>通り芯を定義する。 レンジ定義文字「arc」の定義内容が、001以上の場合に定義が可能である。 定義は、直線と円弧と文字のみで行う。</p> <p><b>【定義方法】</b>  <pre>A_construct:{     【通り芯要素定義（直線、円弧、文字）】     num=通り芯番号 }</pre> </p> <table border="1" data-bbox="616 656 1396 896"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>num</td> <td>通り芯の番号を10 byte以内で定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。 <b>【例】</b> num=X1</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【例】</b>  <pre>A_construct:{     line=6307,1000,1000,5000,1000     circle=1307,900,1000,100,0,360,0     text:{         type=1307,850,950,2,2,2,0,0         character=X1     }     num=X1 }</pre> </p>	定義文字	定義内容	num	通り芯の番号を10 byte以内で定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。 <b>【例】</b> num=X1
定義文字	定義内容					
num	通り芯の番号を10 byte以内で定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。 <b>【例】</b> num=X1					



番号	定義文字	定義内容								
3 2	A_wall	<p>壁を定義する。 レンジ定義文字「arc」の定義内容が、001以上の場合に定義が可能である。 定義は、直線と円弧とハッチングのみで行う。 【定義方法】 A_wall:{     【壁要素定義（直線と円弧とハッチングのみ）】     width=壁厚さ     height=壁下端,壁上端     mater=壁材質 }</p> <table border="1" data-bbox="616 618 1394 1776"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 618 783 656">定義文字</th> <th data-bbox="783 618 1394 656">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 656 783 860">width</td> <td data-bbox="783 656 1394 860">           壁の厚さを数値で定義する。 厚さが不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 width=200         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 860 783 1368">height</td> <td data-bbox="783 860 1394 1368">           垂壁、腰壁の時の高さを定義する。 高さの下端は、床の標準フロアラインからの距離、上端は上階床の標準フロアラインからの距離とする。 スラブまでは、高さを0とする。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般壁 height=0,0 【例】垂壁 height=1000,0 【例】腰壁 height=0,-500 【例】未定義定義 height=         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1368 783 1776">mater</td> <td data-bbox="783 1368 1394 1776">           壁の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 ブロック 「3」 軽量コンクリート 「4」 プレキャストコンクリート 「5」 乾式壁（軽量） 「6」 パーテーション 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2         </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】 A_wall:{   line=1307,100,100,2000,100   line=1307,100,250,2000,250   width=150   height=0,0   mater=1 }</p>	定義文字	定義内容	width	壁の厚さを数値で定義する。 厚さが不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 width=200	height	垂壁、腰壁の時の高さを定義する。 高さの下端は、床の標準フロアラインからの距離、上端は上階床の標準フロアラインからの距離とする。 スラブまでは、高さを0とする。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般壁 height=0,0 【例】垂壁 height=1000,0 【例】腰壁 height=0,-500 【例】未定義定義 height=	mater	壁の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 ブロック 「3」 軽量コンクリート 「4」 プレキャストコンクリート 「5」 乾式壁（軽量） 「6」 パーテーション 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2
定義文字	定義内容									
width	壁の厚さを数値で定義する。 厚さが不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 width=200									
height	垂壁、腰壁の時の高さを定義する。 高さの下端は、床の標準フロアラインからの距離、上端は上階床の標準フロアラインからの距離とする。 スラブまでは、高さを0とする。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般壁 height=0,0 【例】垂壁 height=1000,0 【例】腰壁 height=0,-500 【例】未定義定義 height=									
mater	壁の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 ブロック 「3」 軽量コンクリート 「4」 プレキャストコンクリート 「5」 乾式壁（軽量） 「6」 パーテーション 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2									

番号	定義文字	定義内容												
3 3	A_column	<p>柱を定義する。 レンジ定義文字「arc」の定義内容が、001以上の場合に定義が可能である。 定義は、直線と円弧とハッチングのみで行う。 【定義方法】 A_column:{ 【柱要素定義（直線と円弧とハッチングのみ）】 size=形状,大きさ寸法 mater=材質 }</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>size</td> <td> <p>柱の形状と大きさを定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td> <p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p> </td> </tr> <tr> <td>大きさ</td> <td> <p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】その他の形状 size=0 【例】長方形 size=1,100,100 【例】円 size=2,100</p> </td> </tr> <tr> <td>mater</td> <td> <p>柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 鉄骨 「3」 鉄骨鉄筋コンクリート 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】 A_column:{ line=1307,1000,1000,2000,1000 line=1307,2000,1000,2000,2000 line=1307,2000,2000,1000,2000 line=1307,1000,2000,1000,1000 size=1,1000,1000 mater=1 }</p>	定義文字	定義内容	size	<p>柱の形状と大きさを定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td> <p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p> </td> </tr> <tr> <td>大きさ</td> <td> <p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】その他の形状 size=0 【例】長方形 size=1,100,100 【例】円 size=2,100</p>	パラメータ	定義内容	形状	<p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p>	大きさ	<p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p>	mater	<p>柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 鉄骨 「3」 鉄骨鉄筋コンクリート 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2</p>
定義文字	定義内容													
size	<p>柱の形状と大きさを定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td> <p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p> </td> </tr> <tr> <td>大きさ</td> <td> <p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】その他の形状 size=0 【例】長方形 size=1,100,100 【例】円 size=2,100</p>	パラメータ	定義内容	形状	<p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p>	大きさ	<p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p>							
パラメータ	定義内容													
形状	<p>形状は数値で定義する。数値は、 「0」 その他 「1」 長方形 「2」 円 である。</p>													
大きさ	<p>形状が、「0」の場合は、記入しない。 「1」の場合は、「横、縦」、 「2」の場合は、「直径」を定義する。</p>													
mater	<p>柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 鉄骨 「3」 鉄骨鉄筋コンクリート 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2</p>													

番号	定義文字	定義内容								
3 4	A_beam	<p>梁を定義する。  レンジ定義文字「arc」の定義内容が、001以上の場合に定義が可能である。  定義は、直線と円弧のみで行う。</p> <p>【定義方法】  A_beam:{      【梁要素定義（直線と円弧のみ）】      width=梁幅      height=梁上端,梁成      mater=材質  }</p> <table border="1" data-bbox="616 656 1396 1776"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 656 786 689">定義文字</th> <th data-bbox="786 656 1396 689">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 689 786 992">width</td> <td data-bbox="786 689 1396 992"> 梁の幅を定義する。ハンチ梁の場合は、「中心部分の幅,端部の最大幅,ハンチ長」で定義する。  不明な場合は、未定義定義とする。  【例】一般梁  width=500  【例】ハンチ梁  width=500,700,1000 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 992 786 1435">height</td> <td data-bbox="786 992 1396 1435"> 梁の上端高さと同成を定義する。ハンチ梁で、両端の梁成が大きくなっている場合は、「梁上端,中心部分の梁成,端部の最大梁成,ハンチ長」で定義する。  上端高さは、上階床の標準フロアラインからの距離とする。  不明な場合は、未定義定義とする。  【例】一般梁  height=-50,600  【例】ハンチ梁  height=-50,600,750,1000 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1435 786 1776">mater</td> <td data-bbox="786 1435 1396 1776"> 柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、  「0」 その他  「1」 鉄筋コンクリート  「2」 鉄骨  「3」 鉄骨鉄筋コンクリート  不明な場合は、未定義定義とする。  【例】  mater=2 </td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】  A_beam:{      line=1307,1000,1000,2000,1000      line=1307,1000,1500,2000,1500      width=500      height=-50,600      mater=1  }</p>	定義文字	定義内容	width	梁の幅を定義する。ハンチ梁の場合は、「中心部分の幅,端部の最大幅,ハンチ長」で定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般梁 width=500 【例】ハンチ梁 width=500,700,1000	height	梁の上端高さと同成を定義する。ハンチ梁で、両端の梁成が大きくなっている場合は、「梁上端,中心部分の梁成,端部の最大梁成,ハンチ長」で定義する。 上端高さは、上階床の標準フロアラインからの距離とする。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般梁 height=-50,600 【例】ハンチ梁 height=-50,600,750,1000	mater	柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 鉄骨 「3」 鉄骨鉄筋コンクリート 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2
定義文字	定義内容									
width	梁の幅を定義する。ハンチ梁の場合は、「中心部分の幅,端部の最大幅,ハンチ長」で定義する。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般梁 width=500 【例】ハンチ梁 width=500,700,1000									
height	梁の上端高さと同成を定義する。ハンチ梁で、両端の梁成が大きくなっている場合は、「梁上端,中心部分の梁成,端部の最大梁成,ハンチ長」で定義する。 上端高さは、上階床の標準フロアラインからの距離とする。 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】一般梁 height=-50,600 【例】ハンチ梁 height=-50,600,750,1000									
mater	柱の材質を数値で定義する。それぞれの数値は、 「0」 その他 「1」 鉄筋コンクリート 「2」 鉄骨 「3」 鉄骨鉄筋コンクリート 不明な場合は、未定義定義とする。 【例】 mater=2									

番号	定義文字	定義内容										
3 5	A_fitting	<p>扉、窓などの建具を定義する。  レンジ定義文字「arc」の定義内容が、001以上の場合に定義が可能である。  定義は、直線と円弧のみで行う。</p> <p>【定義方法】</p> <pre>A_fitting:{     【建具要素定義（直線と円弧のみ）】     width=間口幅     height=下端,上端     kind=種類     mater=材質 }</pre> <table border="1" data-bbox="616 656 1396 1709"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>width</td> <td>建具の間口幅を定義する。</td> </tr> <tr> <td>height</td> <td>建具の下端と上端の高さを定義する 高さは、床の標準フロアラインからの距離とする。</td> </tr> <tr> <td>kind</td> <td>建具の種類を定義する。 種類は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 防火戸(常閉) 「2」 防火戸(常開) 「3」 自動ドア 「4」 開き戸 「5」 引き戸 「6」 窓 「7」 開口 である。</td> </tr> <tr> <td>mater</td> <td>建具の材質を定義する。 材質は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 鉄 「2」 アルミ 「3」 木 である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】</p> <pre>A_fitting:{     line=1307,100,100,100,1050     line=1307,900,100,900,250     circle=1307,100,250,800,0,90,0     width=800     height=0,2200     kind=4     mater=1 }</pre>	定義文字	定義内容	width	建具の間口幅を定義する。	height	建具の下端と上端の高さを定義する 高さは、床の標準フロアラインからの距離とする。	kind	建具の種類を定義する。 種類は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 防火戸(常閉) 「2」 防火戸(常開) 「3」 自動ドア 「4」 開き戸 「5」 引き戸 「6」 窓 「7」 開口 である。	mater	建具の材質を定義する。 材質は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 鉄 「2」 アルミ 「3」 木 である。
定義文字	定義内容											
width	建具の間口幅を定義する。											
height	建具の下端と上端の高さを定義する 高さは、床の標準フロアラインからの距離とする。											
kind	建具の種類を定義する。 種類は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 防火戸(常閉) 「2」 防火戸(常開) 「3」 自動ドア 「4」 開き戸 「5」 引き戸 「6」 窓 「7」 開口 である。											
mater	建具の材質を定義する。 材質は数値で定義する。不明な場合未定義定義とする。 数値は、 「0」 その他 「1」 鉄 「2」 アルミ 「3」 木 である。											

番号	定義文字	定義内容												
5 1	B_symbol	<p>シンボル定義 (SYMBOL) で定義した基本図形シンボルを図面内に配置の定義をする。 レンジ定義文字「base」内の「B_sym」が、001以上の場合にこの定義が可能である。</p> <p>【定義方法】 B_symbol=名称,配置 X,配置 Y,角度,倍率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>シンボル定義時に定義文字「name」で定義した名称を定義する。</td> </tr> <tr> <td>配置 X</td> <td>シンボル定義時の原点を配置する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>配置 Y</td> <td>シンボル定義時の原点を配置する Y 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td>角度</td> <td>シンボル定義時からの回転角度を定義する。回転中心は、配置 X, Y</td> </tr> <tr> <td>倍率</td> <td>シンボル定義時からの倍率を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【例】 B_symbol=LINE01,100,100,0,1</p>	パラメータ	定義内容	名称	シンボル定義時に定義文字「name」で定義した名称を定義する。	配置 X	シンボル定義時の原点を配置する X 座標を定義する。	配置 Y	シンボル定義時の原点を配置する Y 座標を定義する。	角度	シンボル定義時からの回転角度を定義する。回転中心は、配置 X, Y	倍率	シンボル定義時からの倍率を定義する。
パラメータ	定義内容													
名称	シンボル定義時に定義文字「name」で定義した名称を定義する。													
配置 X	シンボル定義時の原点を配置する X 座標を定義する。													
配置 Y	シンボル定義時の原点を配置する Y 座標を定義する。													
角度	シンボル定義時からの回転角度を定義する。回転中心は、配置 X, Y													
倍率	シンボル定義時からの倍率を定義する。													
5 2	E_symbol	<p>シンボル定義 (SYMBOL) で定義した電気図形シンボルを図面内に配置の定義をする。 レンジ定義文字「elec」内の「E_sym」が、001以上のばあいこの定義が可能である。 ミラー形状に関しては、今後の課題として検討する</p> <p>【定義方法】 E_symbol:{ symbol=名称,配置 X,配置 Y,角度,倍率 text:{ 【注記定義】 } hight=配置高さ pos=配置位置 circuit=回路番号 seriarl=番号,相手番号,・・・ }</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>symbol</td> <td>基本図形シンボル配置定義「B_symbol」と同様に定義をする。</td> </tr> <tr> <td>text</td> <td>基本図形定義「text」と同様に定義をする。 文字の上限は 10 byte とし、1 つのシンボルに 10 個まで定義できる電気シンボル配置レンジ「E_sym」が 002 以上の場合に定義が可能である 文字の作図されるレイヤは、基本的にシンボルのレイヤ + 2 とする。(別表 3 - 3 参照) 文字の無い場合は定義をしない。</td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	symbol	基本図形シンボル配置定義「B_symbol」と同様に定義をする。	text	基本図形定義「text」と同様に定義をする。 文字の上限は 10 byte とし、1 つのシンボルに 10 個まで定義できる電気シンボル配置レンジ「E_sym」が 002 以上の場合に定義が可能である 文字の作図されるレイヤは、基本的にシンボルのレイヤ + 2 とする。(別表 3 - 3 参照) 文字の無い場合は定義をしない。						
定義文字	定義内容													
symbol	基本図形シンボル配置定義「B_symbol」と同様に定義をする。													
text	基本図形定義「text」と同様に定義をする。 文字の上限は 10 byte とし、1 つのシンボルに 10 個まで定義できる電気シンボル配置レンジ「E_sym」が 002 以上の場合に定義が可能である 文字の作図されるレイヤは、基本的にシンボルのレイヤ + 2 とする。(別表 3 - 3 参照) 文字の無い場合は定義をしない。													

番号	定義文字	定義内容																
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 1877"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 488">hight</td> <td data-bbox="783 315 1396 488"> <p>シンボルの壁取付高さを定義する。高さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が003以上の場合に定義が可能である</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 488 783 891">pos</td> <td data-bbox="783 488 1396 891"> <p>シンボルの取付場所を数値で定義する。それぞれの数値は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1」 壁</li> <li>「2」 床</li> <li>「3」 二重天井</li> <li>「4」 二重天井内</li> <li>「5」 天井スラブ</li> </ul> <p>とする。</p> <p>取付場所が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が004以上の場合に定義が可能である</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 891 783 1126">circuit</td> <td data-bbox="783 891 1396 1126"> <p>シンボルの回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p>回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が005以上の場合に定義が可能である</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1126 783 1877">serial</td> <td data-bbox="783 1126 1396 1877"> <p>シンボルのシリアル番号と、シンボルに接続された配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が010以上の場合に定義が可能である</p> <table border="1" data-bbox="815 1402 1364 1843"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1402 983 1435">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1402 1364 1435">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1435 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1435 1364 1671"> <p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1671 983 1843">相手番号</td> <td data-bbox="983 1671 1364 1843"> <p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	hight	<p>シンボルの壁取付高さを定義する。高さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が003以上の場合に定義が可能である</p>	pos	<p>シンボルの取付場所を数値で定義する。それぞれの数値は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1」 壁</li> <li>「2」 床</li> <li>「3」 二重天井</li> <li>「4」 二重天井内</li> <li>「5」 天井スラブ</li> </ul> <p>とする。</p> <p>取付場所が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が004以上の場合に定義が可能である</p>	circuit	<p>シンボルの回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p>回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が005以上の場合に定義が可能である</p>	serial	<p>シンボルのシリアル番号と、シンボルに接続された配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が010以上の場合に定義が可能である</p> <table border="1" data-bbox="815 1402 1364 1843"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1402 983 1435">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1402 1364 1435">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1435 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1435 1364 1671"> <p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1671 983 1843">相手番号</td> <td data-bbox="983 1671 1364 1843"> <p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	番号	<p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p>	相手番号	<p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p>
定義文字	定義内容																	
hight	<p>シンボルの壁取付高さを定義する。高さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が003以上の場合に定義が可能である</p>																	
pos	<p>シンボルの取付場所を数値で定義する。それぞれの数値は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1」 壁</li> <li>「2」 床</li> <li>「3」 二重天井</li> <li>「4」 二重天井内</li> <li>「5」 天井スラブ</li> </ul> <p>とする。</p> <p>取付場所が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が004以上の場合に定義が可能である</p>																	
circuit	<p>シンボルの回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p>回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が005以上の場合に定義が可能である</p>																	
serial	<p>シンボルのシリアル番号と、シンボルに接続された配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p>電気シンボル配置レンジ「E_sym」が010以上の場合に定義が可能である</p> <table border="1" data-bbox="815 1402 1364 1843"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1402 983 1435">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1402 1364 1435">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1435 983 1671">番号</td> <td data-bbox="983 1435 1364 1671"> <p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1671 983 1843">相手番号</td> <td data-bbox="983 1671 1364 1843"> <p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	番号	<p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p>	相手番号	<p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p>											
パラメータ	定義内容																	
番号	<p>シンボル自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。</p> <p>シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</p>																	
相手番号	<p>シンボルに接続されている配線のシリアル番号を定義する。</p> <p>配線の数の上限は100とする。</p>																	

番号	定義文字	定義内容
		<p>【例1】レンジE_sym=001の場合 E_symbol=LIGHT41,30,30,0,1</p> <p>【例2】レンジE_sym=002の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   text:{     type=1307,100,100,2,2,2,0,0     character=イ   } }</p> <p>【例3】レンジE_sym=003の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   hight=-1 }</p> <p>【例4】レンジE_sym=004の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   hight=-1   pos=3 }</p> <p>【例5】レンジE_sym=005の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   text:{     type=1307,100,100,2,2,2,0,0     character=イ   }   hight=-1   pos=3   circuit=100014 }</p> <p>【例6】レンジE_sym=013の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   hight=-1   seriarl=1,2 }</p> <p>【例7】レンジE_sym=015の場合 E_symbol:{   symbol=LIGHT41,30,30,0,1   hight=-1   pos=3   circuit=100014   seriarl=1,2 }</p>
5 3	E_wire	<p>電気配線を定義する。 要素の定義は、直線と円弧のみで行う。 それぞれの要素の接続関係は、レンジの値による。 ただし、配線要素定義以外の定義を要素定義の前や途中に行うことは出来ない。</p>

番号	定義文字	定義内容														
		<p>1つの配線の要素数の上限は特にない。  レンジ定義文字「elec」内の「E_wire」が、001以上の場合にこの定義が可能である。  配線のサイズや負荷電流などの配線情報に関する定義は、今後の課題として検討をする。</p> <p>【定義方法】  E_wire:{      【配線要素定義（直線と円弧のみ）】      direc=タイプ,配置X,配置Y,角度      piend=配置X,配置Y,角度      num=接地線数,電源線数,配置X,配置Y,角度      text:{          【注記定義】      }      length=配線長      circuit=回路番号      power=相,線,電圧      serial=番号,相手番号,相手番号  }</p> <table border="1" data-bbox="614 925 1396 1776"> <thead> <tr> <th data-bbox="614 925 785 963">定義文字</th> <th data-bbox="785 925 1396 963">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="614 963 785 1059">要素</td> <td data-bbox="785 963 1396 1059">レンジE_wireの値により、配線要素定義の方法が変わる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="614 1059 785 1097"></td> <td data-bbox="785 1059 1396 1097"> <table border="1" data-bbox="817 1059 1364 1742"> <thead> <tr> <th data-bbox="817 1059 986 1097">レンジ値</th> <th data-bbox="986 1059 1364 1097">配線要素定義方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="817 1097 986 1232">000</td> <td data-bbox="986 1097 1364 1232">要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1232 986 1435">100</td> <td data-bbox="986 1232 1364 1435">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1435 986 1742">200</td> <td data-bbox="986 1435 1364 1742">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	要素	レンジE_wireの値により、配線要素定義の方法が変わる。		<table border="1" data-bbox="817 1059 1364 1742"> <thead> <tr> <th data-bbox="817 1059 986 1097">レンジ値</th> <th data-bbox="986 1059 1364 1097">配線要素定義方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="817 1097 986 1232">000</td> <td data-bbox="986 1097 1364 1232">要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1232 986 1435">100</td> <td data-bbox="986 1232 1364 1435">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1435 986 1742">200</td> <td data-bbox="986 1435 1364 1742">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。</td> </tr> </tbody> </table>	レンジ値	配線要素定義方法	000	要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。	100	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。	200	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。
定義文字	定義内容															
要素	レンジE_wireの値により、配線要素定義の方法が変わる。															
	<table border="1" data-bbox="817 1059 1364 1742"> <thead> <tr> <th data-bbox="817 1059 986 1097">レンジ値</th> <th data-bbox="986 1059 1364 1097">配線要素定義方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="817 1097 986 1232">000</td> <td data-bbox="986 1097 1364 1232">要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1232 986 1435">100</td> <td data-bbox="986 1232 1364 1435">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1435 986 1742">200</td> <td data-bbox="986 1435 1364 1742">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。</td> </tr> </tbody> </table>	レンジ値	配線要素定義方法	000	要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。	100	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。	200	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。							
レンジ値	配線要素定義方法															
000	要素の定義に制限はない。要素同士の接続や定義順序は、自由である。															
100	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端の接続や、隠線部分の要素の必要はない。															
200	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されなければならない。ただし、隠線部分は、接続されていなくても良い。															



番号	定義文字	定義内容												
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 1877"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 786 349">定義文字</th> <th colspan="2" data-bbox="786 282 1396 349">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 349 786 996">要素</td> <td data-bbox="786 349 986 996">レンジ値</td> <td data-bbox="986 349 1396 996">配線要素定義方法</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 349 786 996"></td> <td data-bbox="786 349 986 689">300</td> <td data-bbox="986 349 1396 689">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端が同一座標として接続されている必要はないが、隠線処理部分は線種を「0000」として定義しなければならない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 349 786 996"></td> <td data-bbox="786 349 986 996">400</td> <td data-bbox="986 349 1396 996">要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されていなければならない。隠線処理部分も線種を「0000」として定義しなければならない。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="810 1032 1206 1061">【例1】レンジE_wire=0??</p> <pre data-bbox="850 1070 1342 1294">E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   line=1307,15,29,15,25   line=1307,15,30,15,35   circle=1307,15,25,5,90,180,0   : (以降要素以外定義) }</pre> <p data-bbox="810 1305 1206 1335">【例2】レンジE_wire=1??</p> <pre data-bbox="850 1344 1342 1568">E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,90,180,0   line=1307,15,29,15,25   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre> <p data-bbox="810 1579 1206 1608">【例3】レンジE_wire=2??</p> <pre data-bbox="850 1617 1342 1841">E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,180,90,1   line=1307,15,25,15,29   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre>	定義文字	定義内容		要素	レンジ値	配線要素定義方法		300	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端が同一座標として接続されている必要はないが、隠線処理部分は線種を「0000」として定義しなければならない。		400	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されていなければならない。隠線処理部分も線種を「0000」として定義しなければならない。
定義文字	定義内容													
要素	レンジ値	配線要素定義方法												
	300	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義する。この時、要素の終始端が同一座標として接続されている必要はないが、隠線処理部分は線種を「0000」として定義しなければならない。												
	400	要素は、配線の始端より終端方向へ順番に定義し、それぞれの要素の終始端点は、同一座標として接続されていなければならない。隠線処理部分も線種を「0000」として定義しなければならない。												

番号	定義文字	定義内容												
		<table border="1" data-bbox="614 280 1396 958"> <thead> <tr> <th data-bbox="614 280 785 315">定義文字</th> <th data-bbox="785 280 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="614 315 785 958"></td> <td data-bbox="785 315 1396 958"> <p>【例4】レンジE_wire=3??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,90,180,0   line=1307,15,29,15,25   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre> <p>【例5】レンジE_wire=4??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,180,90,1   line=1307,15,25,15,29   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre> </td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="630 965 718 992">direc</p> <p data-bbox="798 965 1364 1093">配線省略記号を定義する。 一つの配線に対し0～2定義できる 電気配線レンジ「E_wire」が002以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="817 1128 1361 1910"> <thead> <tr> <th data-bbox="817 1128 986 1164">パラメータ</th> <th data-bbox="986 1128 1361 1164">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="817 1164 986 1776">タイプ</td> <td data-bbox="986 1164 1361 1776">           省略記号の形を数値で定義する。数値はそれぞれ            「0」 矢印無し            「1」 矢印            「2」 波形            「3」 かぎ形            「4」 直線            である。            配線端部に記号が何もない場合、その部分に配線が接続されているか否かが不明確であるが、ここで「0」を定義することにより、配線がシンボルに接続されていないことを明確に出来る。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1776 986 1843">配置 X</td> <td data-bbox="986 1776 1361 1843">省略記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1843 986 1910">配置 Y</td> <td data-bbox="986 1843 1361 1910">省略記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<p>【例4】レンジE_wire=3??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,90,180,0   line=1307,15,29,15,25   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre> <p>【例5】レンジE_wire=4??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,180,90,1   line=1307,15,25,15,29   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre>	パラメータ	定義内容	タイプ	省略記号の形を数値で定義する。数値はそれぞれ 「0」 矢印無し 「1」 矢印 「2」 波形 「3」 かぎ形 「4」 直線 である。 配線端部に記号が何もない場合、その部分に配線が接続されているか否かが不明確であるが、ここで「0」を定義することにより、配線がシンボルに接続されていないことを明確に出来る。	配置 X	省略記号を記入する X 座標を定義する。	配置 Y	省略記号を記入する Y 座標を定義する。
定義文字	定義内容													
	<p>【例4】レンジE_wire=3??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,90,180,0   line=1307,15,29,15,25   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre> <p>【例5】レンジE_wire=4??</p> <pre>E_wire:{   line=1307,10,10,10,20   circle=1307,15,25,5,180,90,1   line=1307,15,25,15,29   line=0000,15,29,15,30   line=1307,15,30,15,35   : (以降要素以外定義) }</pre>													
パラメータ	定義内容													
タイプ	省略記号の形を数値で定義する。数値はそれぞれ 「0」 矢印無し 「1」 矢印 「2」 波形 「3」 かぎ形 「4」 直線 である。 配線端部に記号が何もない場合、その部分に配線が接続されているか否かが不明確であるが、ここで「0」を定義することにより、配線がシンボルに接続されていないことを明確に出来る。													
配置 X	省略記号を記入する X 座標を定義する。													
配置 Y	省略記号を記入する Y 座標を定義する。													

番号	定義文字	定義内容																														
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 315"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 689"></td> <td data-bbox="783 315 1396 689"> <table border="1" data-bbox="815 349 1364 555"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 555">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 555">配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 589 1364 656">【例】 direc=1,150,150,0</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 689 783 1368">piend</td> <td data-bbox="783 689 1396 1368"> <p data-bbox="802 689 1377 857">打込配管エンド伏せ記号を定義する エンド記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 891 1364 1234"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 891 983 925">パラメータ</th> <th data-bbox="983 891 1364 925">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 925 983 992">配置 X</td> <td data-bbox="983 925 1364 992">エンド記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 992 983 1059">配置 Y</td> <td data-bbox="983 992 1364 1059">エンド記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1059 983 1234">角度</td> <td data-bbox="983 1059 1364 1234">配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 1267 1364 1335">【例】 piend=100,150,180</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1368 783 2056">num</td> <td data-bbox="783 1368 1396 2056"> <p data-bbox="802 1368 1377 1637">配線条数記号を定義する。 複数回定義する事が出来るが、全ての接地線と電力線の条数は同じでなければならない。 条数記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が004以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1671 1364 2013"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1671 983 1704">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1671 1364 1704">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1704 983 1805">接地線数</td> <td data-bbox="983 1704 1364 1805">接地線の本数を定義する。 0または1である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1805 983 1883">電力線数</td> <td data-bbox="983 1805 1364 1883">電力線の本数を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1883 983 1951">配置 X</td> <td data-bbox="983 1883 1364 1951">条数記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1951 983 2013">配置 Y</td> <td data-bbox="983 1951 1364 2013">条数記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<table border="1" data-bbox="815 349 1364 555"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 555">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 555">配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 589 1364 656">【例】 direc=1,150,150,0</p>	パラメータ	定義内容	角度	配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。	piend	<p data-bbox="802 689 1377 857">打込配管エンド伏せ記号を定義する エンド記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 891 1364 1234"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 891 983 925">パラメータ</th> <th data-bbox="983 891 1364 925">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 925 983 992">配置 X</td> <td data-bbox="983 925 1364 992">エンド記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 992 983 1059">配置 Y</td> <td data-bbox="983 992 1364 1059">エンド記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1059 983 1234">角度</td> <td data-bbox="983 1059 1364 1234">配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 1267 1364 1335">【例】 piend=100,150,180</p>	パラメータ	定義内容	配置 X	エンド記号を記入する X 座標を定義する。	配置 Y	エンド記号を記入する Y 座標を定義する。	角度	配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする	num	<p data-bbox="802 1368 1377 1637">配線条数記号を定義する。 複数回定義する事が出来るが、全ての接地線と電力線の条数は同じでなければならない。 条数記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が004以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1671 1364 2013"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1671 983 1704">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1671 1364 1704">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1704 983 1805">接地線数</td> <td data-bbox="983 1704 1364 1805">接地線の本数を定義する。 0または1である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1805 983 1883">電力線数</td> <td data-bbox="983 1805 1364 1883">電力線の本数を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1883 983 1951">配置 X</td> <td data-bbox="983 1883 1364 1951">条数記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1951 983 2013">配置 Y</td> <td data-bbox="983 1951 1364 2013">条数記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	接地線数	接地線の本数を定義する。 0または1である。	電力線数	電力線の本数を定義する。	配置 X	条数記号を記入する X 座標を定義する。	配置 Y	条数記号を記入する Y 座標を定義する。
定義文字	定義内容																															
	<table border="1" data-bbox="815 349 1364 555"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 555">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 555">配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 589 1364 656">【例】 direc=1,150,150,0</p>	パラメータ	定義内容	角度	配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。																											
パラメータ	定義内容																															
角度	配線が省略記号の左側に水平の場合を0度として省略記号の角度を定義する。																															
piend	<p data-bbox="802 689 1377 857">打込配管エンド伏せ記号を定義する エンド記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 891 1364 1234"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 891 983 925">パラメータ</th> <th data-bbox="983 891 1364 925">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 925 983 992">配置 X</td> <td data-bbox="983 925 1364 992">エンド記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 992 983 1059">配置 Y</td> <td data-bbox="983 992 1364 1059">エンド記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1059 983 1234">角度</td> <td data-bbox="983 1059 1364 1234">配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="815 1267 1364 1335">【例】 piend=100,150,180</p>	パラメータ	定義内容	配置 X	エンド記号を記入する X 座標を定義する。	配置 Y	エンド記号を記入する Y 座標を定義する。	角度	配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする																							
パラメータ	定義内容																															
配置 X	エンド記号を記入する X 座標を定義する。																															
配置 Y	エンド記号を記入する Y 座標を定義する。																															
角度	配管がエンド記号の左側に水平の場合を0度としてエンド記号の角度を定義する。 0 ~ 360度とする																															
num	<p data-bbox="802 1368 1377 1637">配線条数記号を定義する。 複数回定義する事が出来るが、全ての接地線と電力線の条数は同じでなければならない。 条数記号の形は、それぞれのCADによる。 電気配線レンジ「E_wire」が004以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1671 1364 2013"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1671 983 1704">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1671 1364 1704">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1704 983 1805">接地線数</td> <td data-bbox="983 1704 1364 1805">接地線の本数を定義する。 0または1である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1805 983 1883">電力線数</td> <td data-bbox="983 1805 1364 1883">電力線の本数を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1883 983 1951">配置 X</td> <td data-bbox="983 1883 1364 1951">条数記号を記入する X 座標を定義する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1951 983 2013">配置 Y</td> <td data-bbox="983 1951 1364 2013">条数記号を記入する Y 座標を定義する。</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	接地線数	接地線の本数を定義する。 0または1である。	電力線数	電力線の本数を定義する。	配置 X	条数記号を記入する X 座標を定義する。	配置 Y	条数記号を記入する Y 座標を定義する。																					
パラメータ	定義内容																															
接地線数	接地線の本数を定義する。 0または1である。																															
電力線数	電力線の本数を定義する。																															
配置 X	条数記号を記入する X 座標を定義する。																															
配置 Y	条数記号を記入する Y 座標を定義する。																															

番号	定義文字	定義内容																						
		<table border="1" data-bbox="616 282 1396 315"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 282 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 282 1396 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 618"></td> <td data-bbox="783 315 1396 618"> <table border="1" data-bbox="815 349 1364 488"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 488">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 488">配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="810 521 1121 589">【例】 num=0,2,70,150,0</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 618 783 857">text</td> <td data-bbox="783 618 1396 857"> <p data-bbox="802 622 1374 790">基本図形定義「text」と同様に定義をする。複数回の定義が可能である。文字の作図されるレイヤは、基本的に配線のレイヤ+1とする。(別表3-3参照)</p> <p data-bbox="802 790 1374 853">電気配線レンジ「E_wire」が005以上の場合に定義が可能である。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 857 783 1126">length</td> <td data-bbox="783 857 1396 1126"> <p data-bbox="802 862 1374 958">配線の実際の長さを定義する。長さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 958 1374 1021">電気配線レンジ「E_wire」が006以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1032 1002 1099">【例】 length=180</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1126 783 1462">circuit</td> <td data-bbox="783 1126 1396 1462"> <p data-bbox="802 1131 1374 1227">配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p data-bbox="802 1227 1374 1290">回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1290 1374 1352">電気配線レンジ「E_wire」が007以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1364 1086 1431">【例】 circuit=100014</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="616 1462 783 2058">power</td> <td data-bbox="783 1462 1396 2058"> <p data-bbox="802 1467 1374 1563">電線の電源種別を定義する。電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1563 1374 1626">相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。</p> <p data-bbox="802 1626 1374 1688">電気配線レンジ「E_wire」が008以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1738 1364 1977"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1738 983 1771">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1738 1364 1771">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1771 983 1868">相</td> <td data-bbox="983 1771 1364 1868">電源の相を定義する相は、1と3のみである。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1868 983 1977">線</td> <td data-bbox="983 1868 1364 1977">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<table border="1" data-bbox="815 349 1364 488"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 488">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 488">配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="810 521 1121 589">【例】 num=0,2,70,150,0</p>	パラメータ	定義内容	角度	配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。	text	<p data-bbox="802 622 1374 790">基本図形定義「text」と同様に定義をする。複数回の定義が可能である。文字の作図されるレイヤは、基本的に配線のレイヤ+1とする。(別表3-3参照)</p> <p data-bbox="802 790 1374 853">電気配線レンジ「E_wire」が005以上の場合に定義が可能である。</p>	length	<p data-bbox="802 862 1374 958">配線の実際の長さを定義する。長さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 958 1374 1021">電気配線レンジ「E_wire」が006以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1032 1002 1099">【例】 length=180</p>	circuit	<p data-bbox="802 1131 1374 1227">配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p data-bbox="802 1227 1374 1290">回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1290 1374 1352">電気配線レンジ「E_wire」が007以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1364 1086 1431">【例】 circuit=100014</p>	power	<p data-bbox="802 1467 1374 1563">電線の電源種別を定義する。電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1563 1374 1626">相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。</p> <p data-bbox="802 1626 1374 1688">電気配線レンジ「E_wire」が008以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1738 1364 1977"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1738 983 1771">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1738 1364 1771">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1771 983 1868">相</td> <td data-bbox="983 1771 1364 1868">電源の相を定義する相は、1と3のみである。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1868 983 1977">線</td> <td data-bbox="983 1868 1364 1977">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	相	電源の相を定義する相は、1と3のみである。	線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである
定義文字	定義内容																							
	<table border="1" data-bbox="815 349 1364 488"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 349 983 383">パラメータ</th> <th data-bbox="983 349 1364 383">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 383 983 488">角度</td> <td data-bbox="983 383 1364 488">配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="810 521 1121 589">【例】 num=0,2,70,150,0</p>	パラメータ	定義内容	角度	配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。																			
パラメータ	定義内容																							
角度	配線が水平の場合を0度として、0～180の間で定義する。																							
text	<p data-bbox="802 622 1374 790">基本図形定義「text」と同様に定義をする。複数回の定義が可能である。文字の作図されるレイヤは、基本的に配線のレイヤ+1とする。(別表3-3参照)</p> <p data-bbox="802 790 1374 853">電気配線レンジ「E_wire」が005以上の場合に定義が可能である。</p>																							
length	<p data-bbox="802 862 1374 958">配線の実際の長さを定義する。長さが不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 958 1374 1021">電気配線レンジ「E_wire」が006以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1032 1002 1099">【例】 length=180</p>																							
circuit	<p data-bbox="802 1131 1374 1227">配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。</p> <p data-bbox="802 1227 1374 1290">回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1290 1374 1352">電気配線レンジ「E_wire」が007以上の場合に定義が可能である。</p> <p data-bbox="810 1364 1086 1431">【例】 circuit=100014</p>																							
power	<p data-bbox="802 1467 1374 1563">電線の電源種別を定義する。電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。</p> <p data-bbox="802 1563 1374 1626">相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。</p> <p data-bbox="802 1626 1374 1688">電気配線レンジ「E_wire」が008以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="815 1738 1364 1977"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 1738 983 1771">パラメータ</th> <th data-bbox="983 1738 1364 1771">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 1771 983 1868">相</td> <td data-bbox="983 1771 1364 1868">電源の相を定義する相は、1と3のみである。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 1868 983 1977">線</td> <td data-bbox="983 1868 1364 1977">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	相	電源の相を定義する相は、1と3のみである。	線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである																	
パラメータ	定義内容																							
相	電源の相を定義する相は、1と3のみである。																							
線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである																							

番号	定義文字	定義内容																
		<table border="1" data-bbox="614 280 1396 660"> <thead> <tr> <th data-bbox="614 280 782 324">定義文字</th> <th data-bbox="782 280 1396 324">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="614 324 782 660"></td> <td data-bbox="782 324 1396 660"> <table border="1" data-bbox="813 347 1364 526"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 347 981 392">パラメータ</th> <th data-bbox="981 347 1364 392">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 392 981 526">電圧</td> <td data-bbox="981 392 1364 526">電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="813 548 1364 638">【例】 power=1,3,200</p> </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="614 660 1396 1982"> <tbody> <tr> <td data-bbox="614 660 782 1982">serial1</td> <td data-bbox="782 660 1396 1982"> <p data-bbox="798 660 1380 750">配線のシリアル番号と、配線に接続されたシンボルのシリアル番号を定義する。</p> <p data-bbox="798 750 1380 817">シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p data-bbox="798 817 1380 884">電気配線レンジ「E_wire」が010以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="813 929 1364 1646"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 929 981 974">パラメータ</th> <th data-bbox="981 929 1364 974">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 974 981 1198">番号</td> <td data-bbox="981 974 1364 1198">配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 1198 981 1646">相手番号</td> <td data-bbox="981 1198 1364 1646">配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="798 1668 1380 1736">【例1】始終端共にシンボルに接続 serial1=2,1,3</p> <p data-bbox="798 1736 1380 1803">【例2】始端のみシンボルに接続 serial1=2,1,</p> <p data-bbox="798 1803 1380 1870">【例3】終端のみシンボルに接続 serial1=2,,1</p> <p data-bbox="798 1870 1380 1937">【例4】終始端共接続されていない serial1=2,,</p> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容		<table border="1" data-bbox="813 347 1364 526"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 347 981 392">パラメータ</th> <th data-bbox="981 347 1364 392">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 392 981 526">電圧</td> <td data-bbox="981 392 1364 526">電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="813 548 1364 638">【例】 power=1,3,200</p>	パラメータ	定義内容	電圧	電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)	serial1	<p data-bbox="798 660 1380 750">配線のシリアル番号と、配線に接続されたシンボルのシリアル番号を定義する。</p> <p data-bbox="798 750 1380 817">シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p data-bbox="798 817 1380 884">電気配線レンジ「E_wire」が010以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="813 929 1364 1646"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 929 981 974">パラメータ</th> <th data-bbox="981 929 1364 974">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 974 981 1198">番号</td> <td data-bbox="981 974 1364 1198">配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 1198 981 1646">相手番号</td> <td data-bbox="981 1198 1364 1646">配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="798 1668 1380 1736">【例1】始終端共にシンボルに接続 serial1=2,1,3</p> <p data-bbox="798 1736 1380 1803">【例2】始端のみシンボルに接続 serial1=2,1,</p> <p data-bbox="798 1803 1380 1870">【例3】終端のみシンボルに接続 serial1=2,,1</p> <p data-bbox="798 1870 1380 1937">【例4】終始端共接続されていない serial1=2,,</p>	パラメータ	定義内容	番号	配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。	相手番号	配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。
定義文字	定義内容																	
	<table border="1" data-bbox="813 347 1364 526"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 347 981 392">パラメータ</th> <th data-bbox="981 347 1364 392">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 392 981 526">電圧</td> <td data-bbox="981 392 1364 526">電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="813 548 1364 638">【例】 power=1,3,200</p>	パラメータ	定義内容	電圧	電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)													
パラメータ	定義内容																	
電圧	電源の電圧を定義する。 電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)																	
serial1	<p data-bbox="798 660 1380 750">配線のシリアル番号と、配線に接続されたシンボルのシリアル番号を定義する。</p> <p data-bbox="798 750 1380 817">シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じものは使用できない。</p> <p data-bbox="798 817 1380 884">電気配線レンジ「E_wire」が010以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="813 929 1364 1646"> <thead> <tr> <th data-bbox="813 929 981 974">パラメータ</th> <th data-bbox="981 929 1364 974">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="813 974 981 1198">番号</td> <td data-bbox="981 974 1364 1198">配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 1198 981 1646">相手番号</td> <td data-bbox="981 1198 1364 1646">配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="798 1668 1380 1736">【例1】始終端共にシンボルに接続 serial1=2,1,3</p> <p data-bbox="798 1736 1380 1803">【例2】始端のみシンボルに接続 serial1=2,1,</p> <p data-bbox="798 1803 1380 1870">【例3】終端のみシンボルに接続 serial1=2,,1</p> <p data-bbox="798 1870 1380 1937">【例4】終始端共接続されていない serial1=2,,</p>	パラメータ	定義内容	番号	配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。	相手番号	配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。											
パラメータ	定義内容																	
番号	配線自身のシリアル番号を10桁以内の数値で定義する。 シリアル番号は、他のシンボルや配線と同じ番号を使用することはできない。																	
相手番号	配線に接続されているシンボルのシリアル番号を定義する。 常に2つの番号を定義しなければならない 1つ目の番号が、始端に接続されたシンボルの番号を示し、2つ目の番号が終端に接続されたシンボルの番号を示す。シンボルが接続されていない場合は、番号を記入しない。																	

番号	定義文字	定義内容
		<pre> 【例 1】レンジE_wire=001の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150 } 【例 2】レンジE_wire=002の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0 } 【例 3】レンジE_wire=003の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180 } 【例 4】レンジE_wire=004の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0 } 【例 5】レンジE_wire=005の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   } } 【例 6】レンジE_wire=006の場合 E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180 } </pre>

番号	定義文字	定義内容
		<pre> 【例 7】レンジE_wire=007の場合 E_wire:{   circle=5307,10,145,5,90,180,0   line=5307,5,10,5,100   line=5307,5,105,5,145   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014 }  【例 8】レンジE_wire=107の場合 E_wire:{   line=5307,5,10,5,100   line=5307,5,105,5,145   circle=5307,10,145,5,90,180,0   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014 }  【例 9】レンジE_wire=207の場合 E_wire:{   line=5307,5,10,5,100   line=5307,5,105,5,145   circle=5307,10,145,5,180,90,1   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014 } </pre>

番号	定義文字	定義内容
		<p>【例 1 0】レンジE_wire=418の場合</p> <pre> E_wire:{   line=5307,5,10,5,100   line=0000,5,100,5,105   line=5307,5,105,5,145   circle=5307,10,145,5,180,90,1   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014   power=1,2,200   seriarl=2,1, } </pre> <p>【例 1 1】レンジE_wire=008の場合</p> <pre> E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014   power=1,2,200 } </pre> <p>【例 1 2】レンジE_wire=014の場合</p> <pre> E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   seriarl=2,1, } </pre>



番号	定義文字	定義内容										
		<p>【例13】レンジE_wire=018の場合</p> <pre> E_wire:{   line=5307,10,150,150,150   direc=1,150,150.0   piend=100,150,180   num=0,2,70,150,0   text:{     type=1307,65,170,2.5,2.5,2.5,0,0     character=2.0   }   length=180   circuit=100014   power=1,2,200   seriarl=2,1, } </pre>										
5 4	E_cirno	<p>電気回路番号を定義する。  定義は、基本図形要素と基本シンボルのみで行う。  1つの回路番号の要素数は、1～10</p> <p>【定義方法】</p> <pre> E_cirno:{   【回路番号要素定義】   circuit=回路番号   power=相,線,電圧 } </pre> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定義文字</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>circuit</td> <td> <p>配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。  回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が002以上の場合に定義が可能である。  【例】  circuit=100014</p> </td> </tr> <tr> <td>power</td> <td> <p>電線の電源種別を定義する。  電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。  相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相</td> <td> <p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	定義文字	定義内容	circuit	<p>配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。  回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が002以上の場合に定義が可能である。  【例】  circuit=100014</p>	power	<p>電線の電源種別を定義する。  電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。  相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相</td> <td> <p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	相	<p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p>
定義文字	定義内容											
circuit	<p>配線の回路番号を10byte以内の英数字とハイフン、ピリオドで定義する。  回路番号が不明の場合は、未定義定義とする。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が002以上の場合に定義が可能である。  【例】  circuit=100014</p>											
power	<p>電線の電源種別を定義する。  電源種別が不明の場合は、未定義定義とする。  相・線・電圧の可能な組み合わせは別表6を参照する。  電気回路番号レンジ「E_cirno」が003以上の場合に定義が可能である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相</td> <td> <p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	相	<p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p>							
パラメータ	定義内容											
相	<p>電源の相を定義する相は、1と3のみである。</p>											

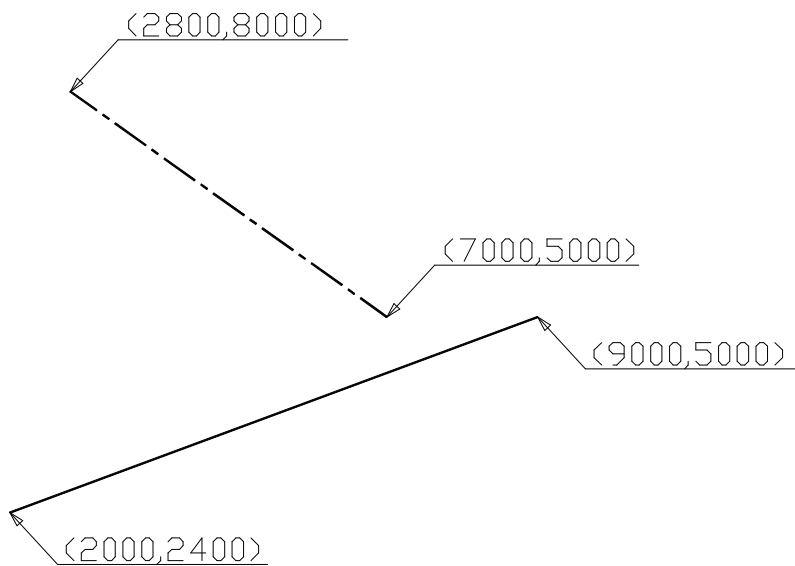
番号	定義文字	定義内容										
		<table border="1" data-bbox="616 280 1394 757"> <thead> <tr> <th data-bbox="616 280 783 315">定義文字</th> <th data-bbox="783 280 1394 315">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="616 315 783 622"> <table border="1" data-bbox="815 344 1362 622"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 344 983 380">パラメータ</th> <th data-bbox="983 344 1362 380">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 380 983 483">線</td> <td data-bbox="983 380 1362 483">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 483 983 622">電圧</td> <td data-bbox="983 483 1362 622">電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td data-bbox="783 315 1394 622"> <p data-bbox="810 658 1070 723">【例】 power=1,3,200</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="608 792 1117 824">【例1】レンジE_cirno=001の場合</p> <pre data-bbox="647 831 1222 1032">E_cirno:{   circle=1307,650,650,200,0,360,0   text:{     type=1307,500,500,3,3,3,0,0     character=1   } }</pre> <p data-bbox="608 1066 1117 1097">【例2】レンジE_cirno=002の場合</p> <pre data-bbox="647 1104 1222 1361">E_cirno:{   circle=1307,650,650,200,0,360,0   text:{     type=1307,500,500,3,3,3,0,0     character=1   }   circuit=100014 }</pre> <p data-bbox="608 1373 1117 1404">【例3】レンジE_cirno=003の場合</p> <pre data-bbox="647 1411 1222 1704">E_cirno:{   circle=1307,650,650,200,0,360,0   text:{     type=1307,500,500,3,3,3,0,0     character=1   }   circuit=100014   power=1,2,200 }</pre>	定義文字	定義内容	<table border="1" data-bbox="815 344 1362 622"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 344 983 380">パラメータ</th> <th data-bbox="983 344 1362 380">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 380 983 483">線</td> <td data-bbox="983 380 1362 483">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 483 983 622">電圧</td> <td data-bbox="983 483 1362 622">電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである	電圧	電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)	<p data-bbox="810 658 1070 723">【例】 power=1,3,200</p>
定義文字	定義内容											
<table border="1" data-bbox="815 344 1362 622"> <thead> <tr> <th data-bbox="815 344 983 380">パラメータ</th> <th data-bbox="983 344 1362 380">定義内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="815 380 983 483">線</td> <td data-bbox="983 380 1362 483">電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである</td> </tr> <tr> <td data-bbox="815 483 983 622">電圧</td> <td data-bbox="983 483 1362 622">電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)</td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	定義内容	線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである	電圧	電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)	<p data-bbox="810 658 1070 723">【例】 power=1,3,200</p>					
パラメータ	定義内容											
線	電源の線数を定義する。線数は、1・2・3・4の何れかである											
電圧	電源の電圧を定義する。電圧は、公称電圧を使用する。(別表5)											

## 第 8 章 中間ファイル定義例

### 2 . 直線定義 ( line )

line=1307,9000,5000,2000,2400

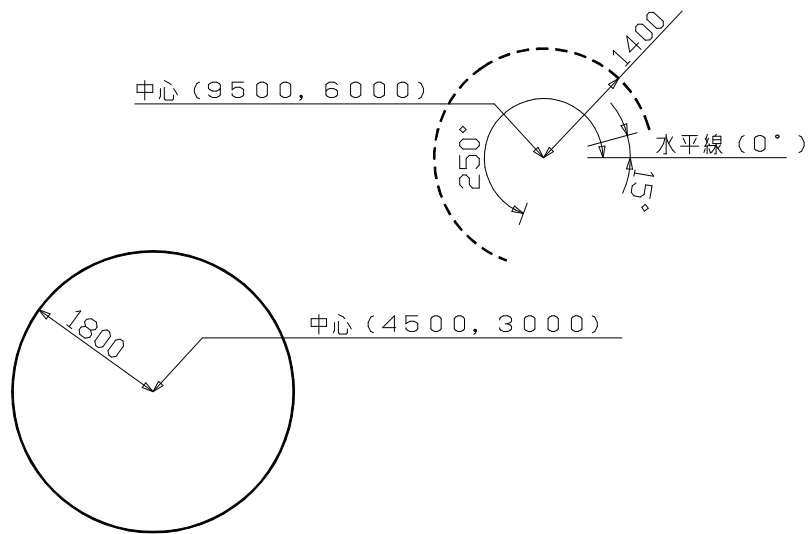
line=5307,2800,8000,7000,5000



### 3 . 円・円弧定義 ( circle )

circle=1307,4500,3000,1800,0,360,0

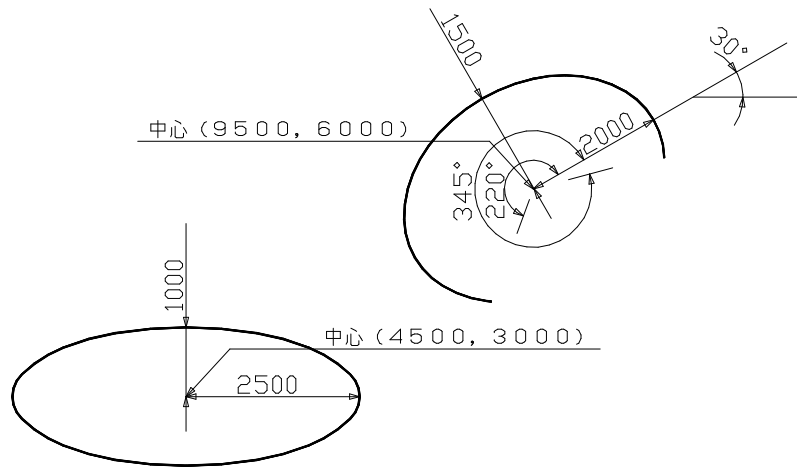
circle=3307,9500,6000,1400,15,250,0



#### 4 . 橢圓 · 橢圓弧定義 ( ellipse )

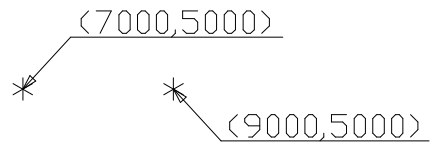
ellipse=1307,4500,3000,2500,1000,0,360,0,0

ellipse=1307,9500,6000,2000,1500,345,220,30,0



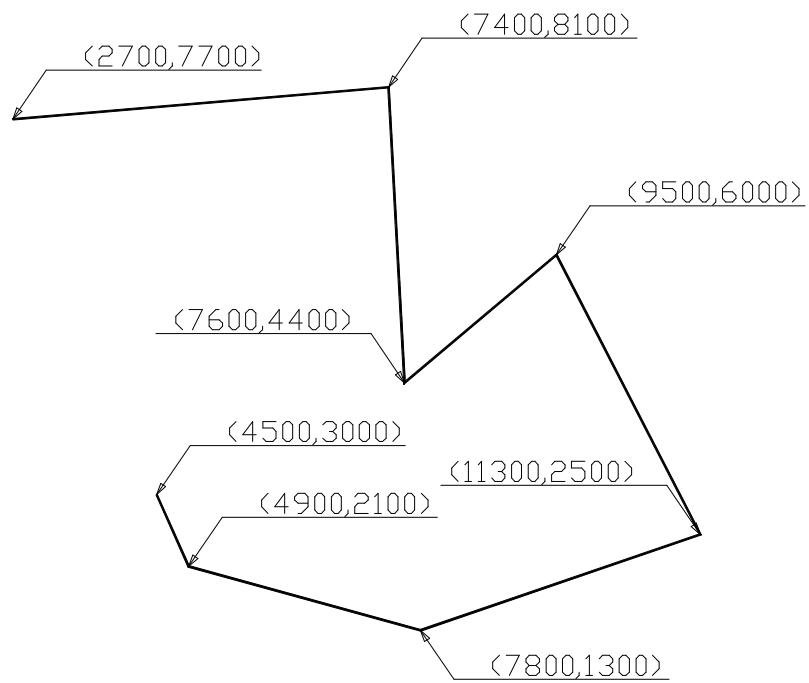
5 . 点定义 ( point )

```
point=1307,2800,8000  
point=1307,7000,5000  
point=1307,9000,5000  
point=1307,2000,2400
```



## 6 . 連續直線定義 ( successive )

```
successive:{  
  point=1307,2700,7000  
  point=1307,7400,8100  
  point=1307,7600,4400  
  point=1307,9500,6000  
  point=1307,11300,2500  
  point=1307,7800,1300  
  point=1307,4900,2100  
  point=1307,44500,3000  
}
```

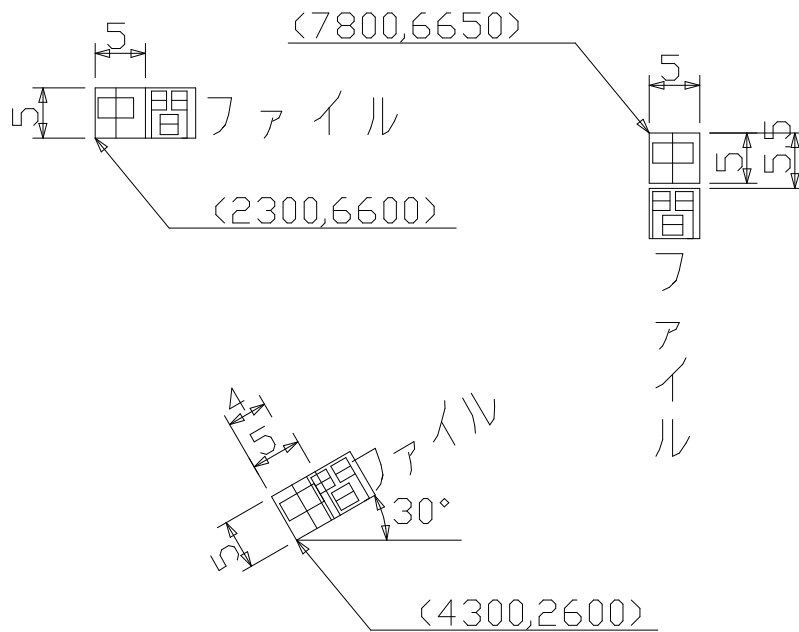


7 . 文字列定義 ( text )

```

text: {
  type=1307,2300,6600,2.5,5,2.5,0,0
  character=中間ファイル
}
text: {
  type=1307,4300,2600,2.5,5,2,30,0
  character=中間ファイル
}
text: {
  type=1307,7800,6650,2.5,5,5.5,0,1
  character=中間ファイル
}

```



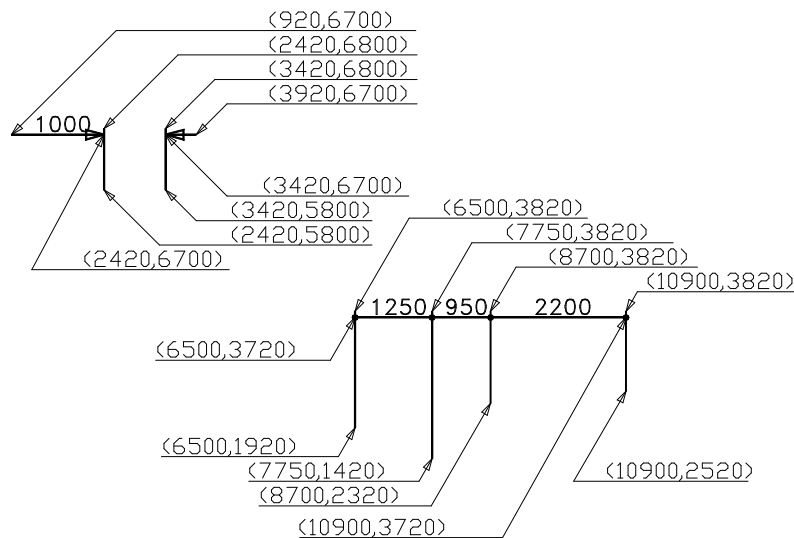


## 8 . 寸法定義 ( measuer )

```

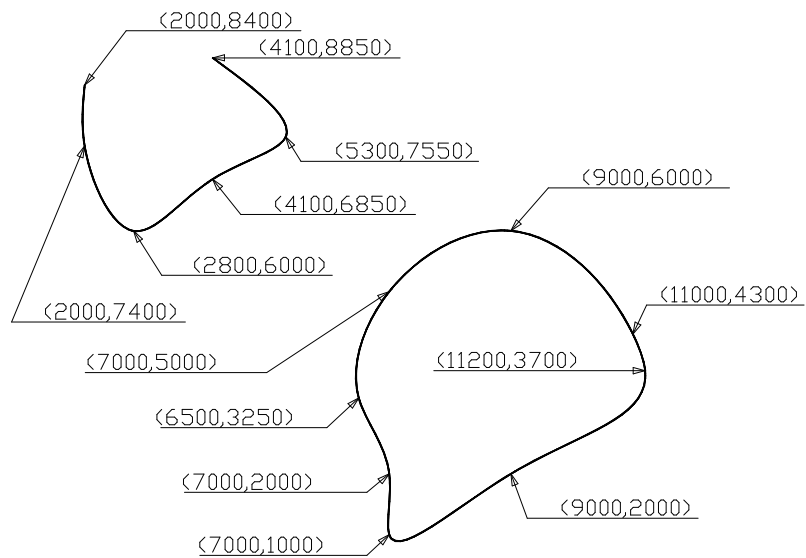
measuer:{
  type=2,2
  pul=1,2420,5800,2420,6800
  pul=2,3420,5800,3420,6800
  line=1307,920,6700,2420,6700
  line=1307,3420,6700,3920,6700
  text=1:{
    type=1307,1000,6730,2.5,2.5,2.5,0,0
    character=1000
  }
}
measuer:{
  type=1,1
  pul=1,6500,3820,6500,1920
  pul=2,7750,3820,7750,1420
  pul=3,8700,3820,8700,2320
  pul=4,10900,3820,10900,2520
  line=1307,6500,3720,10900,3720
  text=1:{
    type=1307,6750,3750,2.5,2.5,2.5,0,0
    character=1250
  }
}
text=2:{
  type=1307,7770,3750,2.5,2.5,2.5,0,0
  character=950
}
text=3:{
  type=1307,9400,3750,2.5,2.5,2.5,0,0
  character=2200
}
}

```



## 9 . 自由曲線 ( spline )

```
spline:{  
  point=1307,4100,8400  
  point=1307,5300,7550  
  point=1307,4100,6850  
  point=1307,2800,6000  
  point=1307,2000,7400  
  point=1307,2000,8400  
}  
spline:{  
  point=1307,9000,6000  
  point=1307,11000,4300  
  point=1307,11200,3700  
  point=1307,9000,2000  
  point=1307,7000,1000  
  point=1307,7000,2000  
  point=1307,6500,3250  
  point=1307,7000,5000  
  point=1307,9000,6000  
}
```

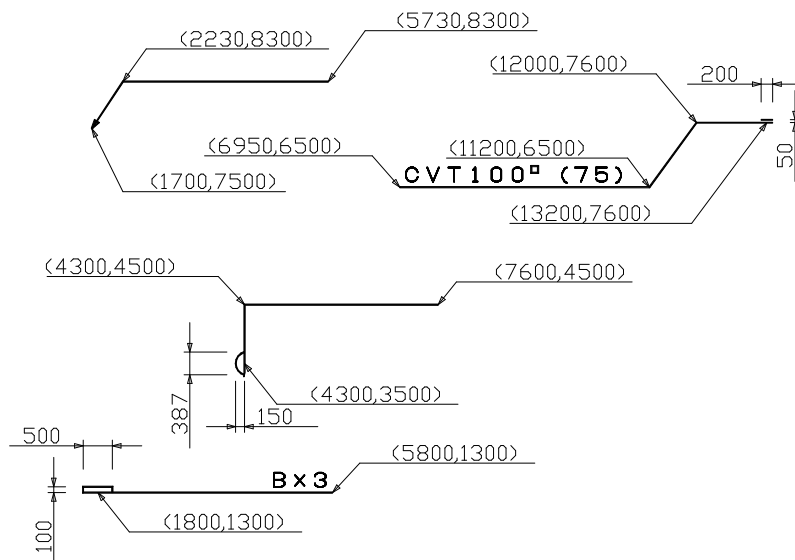


1 0 . 引き出し線 ( pulline )

```

pulline:{
  type=2,0,0
  successive:{
    point=1307,1700,7500
    point=1307,2230,8300
    point=1307,5730,8300
  }
  text=
}
pulline:{
  type=4,200,50
  successive:{
    point=1307,13200,7600
    point=1307,12000,7600
    point=1307,11200,6500
    point=1307,6950,6500
  }
  text:{
    type=1307,7800,6700,1.5,3,3,0,0
    character=C V T 1 0 0 ( 7 5 )
  }
}
pulline:{
  type=5,387,150
  successive:{
    point=1307,4300,3500
    point=1307,4300,4500
    point=1307,7600,4500
  }
  text=
}
pulline:{
  type=3,500,100
  successive:{
    point=1307,1800,1300
    point=1307,5800,1300
  }
  text:{
    type=1307,4700,1500,1.5,3,3,0,0
    character=B x 3
  }
}

```

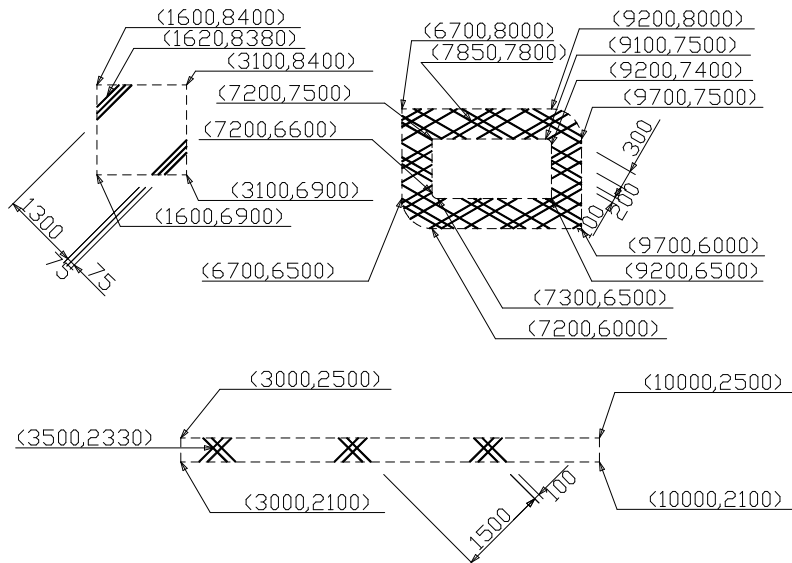


1 1 . 塗りつぶし ( hacchi )

```

hacchi:{
  type=1307,1,45
  area:{
    line=1307,1600,8400,3100,8400
    line=1307,3100,8400,3100,6900
    line=1307,3100,6900,1600,6900
    line=1307,1600,6900,1600,8400
  }
  pitch=75,75,1300
  point=1307,1620,8380
}
hacchi:{
  type=1307,3,30
  area:{
    line=1307,6700,8000,9200,8000
    circle=1307,9200,7500,500,90,0,1
    line=1307,9700,7500,9700,6000
    line=1307,9700,6000,7200,6000
    circle=1307,7200,6500,500,270,180,1
    line=1307,6700,6500,6700,8000
  }
  holl:{
    line=1307,7200,7500,9100,7500
    circle=1307,9200,7500,100,90,0,1
    line=1307,9200,7400,9200,6500
    line=1307,9200,6500,7300,6500
    circle=1307,7200,6500,100,270,180,1
    line=1307,7200,6600,7200,7500
  }
  pitch=100,200,300
  point=1307,7850,7800
}
hacchi:{
  type=1307,2,45
  area:{
    line=1307,3000,2500,10000,2500
    line=1307,10000,2500,10000,2100
    line=1307,10000,2100,3000,2100
    line=1307,3000,2100,3000,2500
  }
  pitch=100,1500
  point=1307,3500,2330
}

```

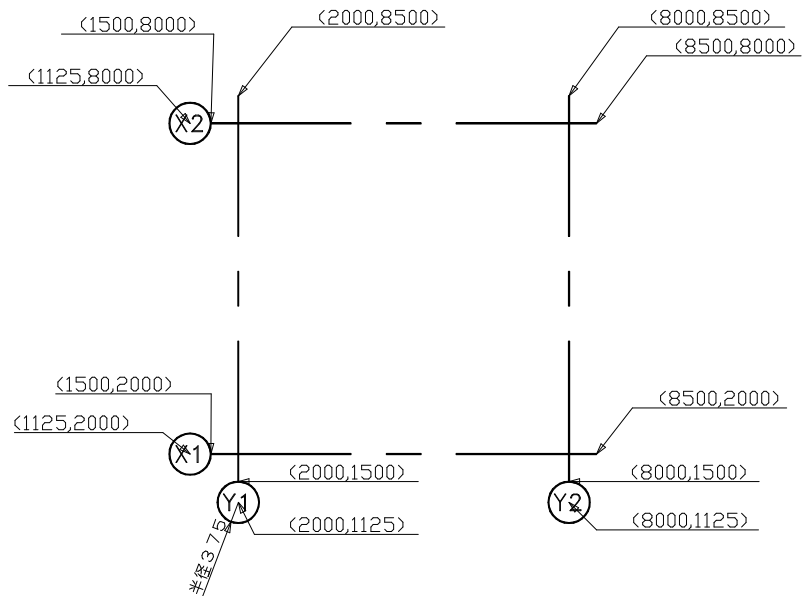


### 3 1 . 通り芯 ( A\_construct )

```

A_construct:{
  line=6307,1500,8000,8500,8000
  circle=1307,1125,8000,375,0,360,0
  text:{
    type=1307,825,7850,3,3,3,0,0
    character=X1
  }
  num=X1
}
A_construct:{
  line=6307,1500,2000,8500,2000
  circle=1307,1125,2000,375,0,360,0
  text:{
    type=1307,825,1850,3,3,3,0,0
    character=X2
  }
  num=X2
}
A_construct:{
  line=6307,2000,1500,2000,8500
  circle=1307,2000,1125,375,0,360,0
  text:{
    type=1307,1700,975,3,3,3,0,0
    character=Y1
  }
  num=Y1
}
A_construct:{
  line=6307,8000,1500,8000,8500
  circle=1307,8000,1125,375,0,360,0
  text:{
    type=1307,7700,975,3,3,3,0,0
    character=Y2
  }
  num=Y2
}
}

```

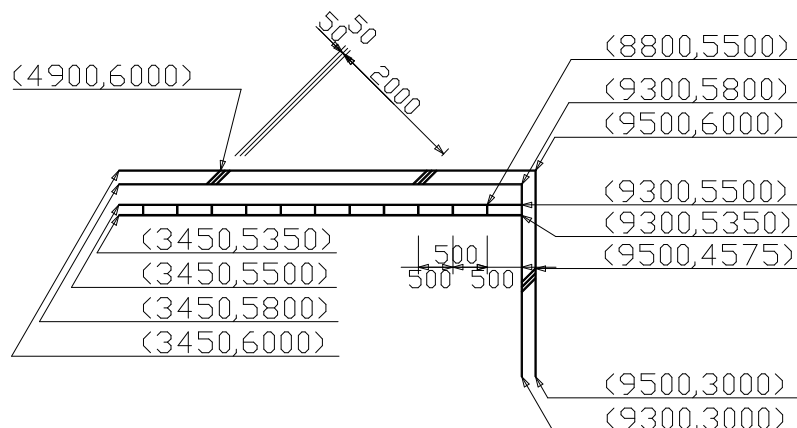


3 2 . 壁 ( A\_wall )

```

A_wall:{
  line=1307,3450,6000,9500,6000
  line=1307,3450,5800,9300,5800
  hacchi:{
    type=1307,1,45
    area:{
      line=1307,3450,6000,9300,6000
      line=1307,9300,6000,9300,5800
      line=1307,9300,5800,3450,5800
      line=1307,3450,5800,3450,6000
    }
    pitch=50,50,2000
    point=1307,4900,6000
  }
  width=200
  height=0,0
  mater=1
}
A_wall:{
  line=1307,9500,3000,9500,6000
  line=1307,9300,3000,9300,5800
  hacchi:{
    type=1073,1,45
    area:{
      line=1307,9500,3000,9500,6000
      line=1307,9500,6000,9300,5800
      line=1307,9300,5800,9300,3000
      line=1307,9300,3000,9500,3000
    }
    pitch=50,50,2000
    point=1307,9500,4575
  }
  width=200
  height=0,0
  mater=1
}
A_wall:{
  line=1307,3450,5500,9300,5500
  line=1307,3450,5350,9300,5350
  hacchi:{
    type=1307,1,90
    area:{
      line=1307,3450,5500,9300,5500
      line=1307,9300,5500,9300,5350
      line=1307,9300,5350,3450,5350
      line=1307,3450,5350,3450,5500
    }
    pitch=500
    point=1307,8800,5500
  }
  width=150
  height=0,1000
  mater=2
}

```

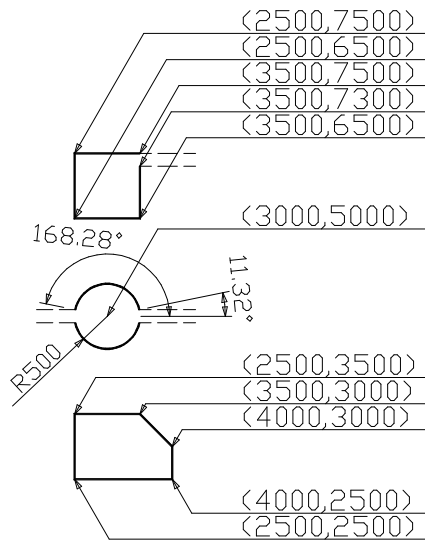


### 3 3 . 柱 ( A\_column )

```

A_column:{
  line=1307,2500,7500,3500,7500
  line=1307,3500,7300,3500,6500
  line=1307,3500,6500,2500,6500
  line=1307,2500,6500,2500,7500
  size=1,1000,1000
  mater=2
}
A_column:{
  circle=1307,3000,5000,500,11.32,168.28,0
  circle=1307,3000,5000,500,191.72,348.68,0
  size=2,1000
  mater=2
}
A_column:{
  line=1307,2500,3500,3500,3500
  line=1307,3500,3500,4000,3000
  line=1307,4000,3000,4000,2500
  line=1307,4000,2500,2500,2500
  line=1307,2500,2500,2500,3500
  size=0
  mater=0
}

```

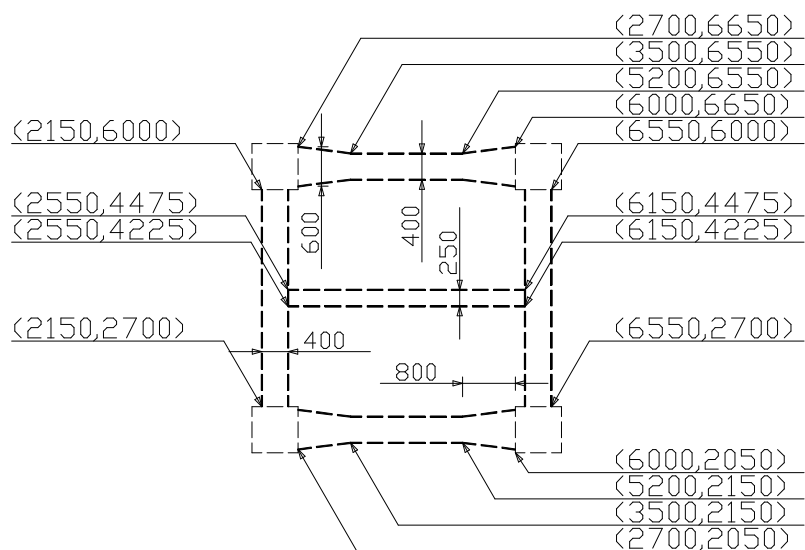


### 3 4 . 梁 ( A\_beam )

```

A_beam:{
  line=3307,2150,6000,2150,2700
  line=3307,2550,6000,2550,2700
  width=400
  height=-30,800
  mater=1
}
A_beam:{
  line=3307,6150,6000,6150,2700
  line=3307,6550,6000,6550,2700
  width=400
  height=-30,800
  mater=1
}
A_beam:{
  line=3307,2700,6650,3500,6550
  line=3307,3500,6550,5200,6550
  line=3307,5200,6550,6000,6650
  line=3307,2700,6050,3500,6150
  line=3307,3500,6150,5200,6150
  line=3307,5200,6150,6000,6050
  width=400,600,800
  height=-30,800
  mater=1
}
A_beam:{
  line=3307,2700,2650,3500,2550
  line=3307,3500,2550,5200,2550
  line=3307,5200,2550,6000,2650
  line=3307,2700,2050,3500,2150
  line=3307,3500,2150,5200,2150
  line=3307,5200,2150,6000,2050
  width=400,600,800
  height=-30,800
  mater=1
}
A_beam:{
  line=3307,2550,4475,6150,4475
  line=3307,2550,4225,6150,4225
  width=250
  height=-30,500
  mater=1
}

```



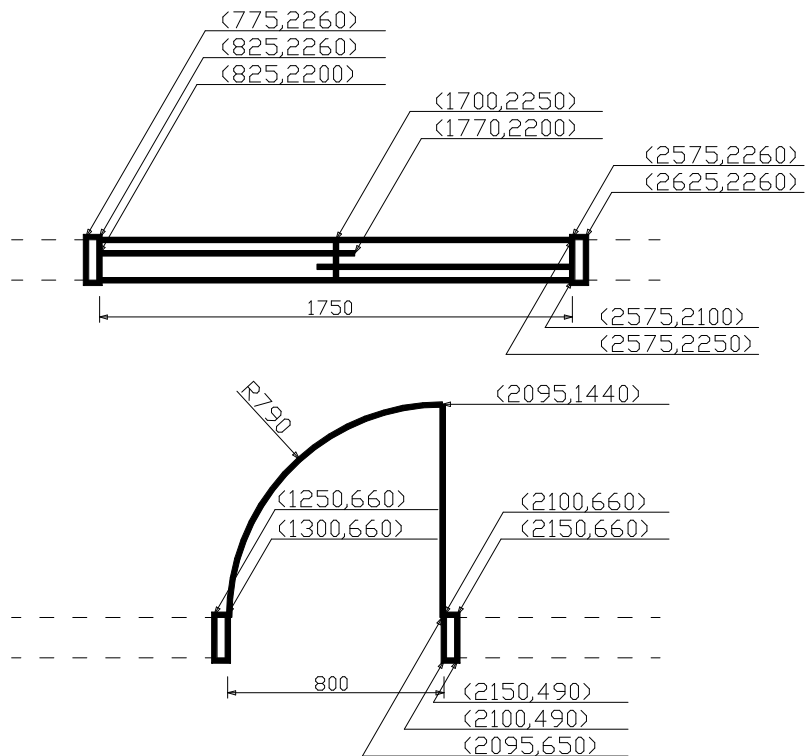


### 3 5 . 建具 ( A\_fitting )

```

A_fitting:{
  line=1307,775,2260,825,2260
  line=1307,825,2260,825,2090
  line=1307,825,2090,775,2090
  line=1307,775,2090,775,2260
  line=1307,2575,2260,2625,2260
  line=1307,2625,2260,2625,2090
  line=1307,2625,2090,2575,2090
  line=1307,2575,2090,2575,2260
  line=1307,825,2200,1770,2200
  line=1307,1630,2150,2575,2150
  line=1307,1700,2250,1700,2100
  line=1307,825,2250,2575,2250
  line=1307,825,2100,2575,2100
  width=1750
  height=1000,2000
  kind=6
  mater=2
}
A_fitting:{
  line=1307,1250,660,1300,660
  line=1307,1300,660,1300,490
  line=1307,1300,490,1250,490
  line=1307,1250,490,1250,660
  line=1307,2100,660,2150,660
  line=1307,2150,660,2150,490
  line=1307,2150,490,2100,490
  line=1307,2100,490,2100,660
  line=1307,2095,650,2095,1440
  circle=1307,2095,650,790,90,180,0
  width=800
  height=0,1800
  kind=4
  mater=1
}

```



## 5 1 . 基本シンボル ( B\_symbol )

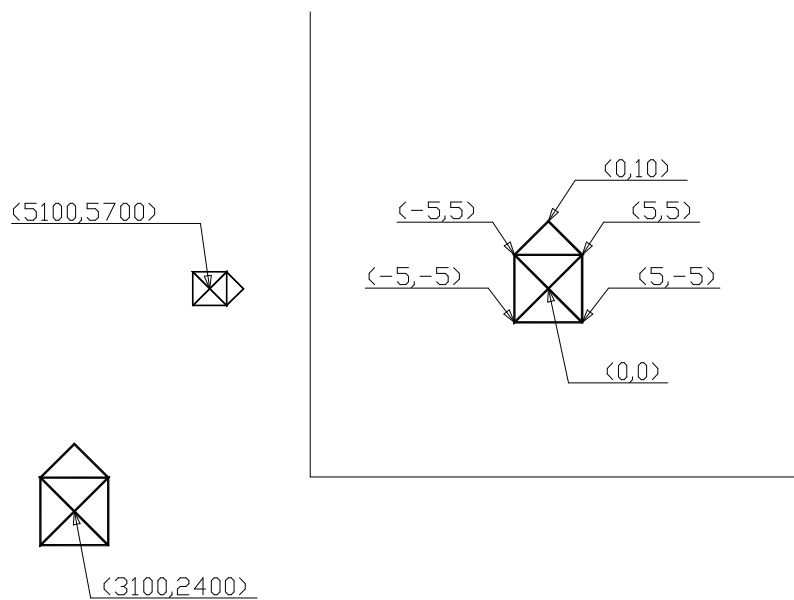
### 【シンボル定義部分】

```
B_symbol:{  
  name=House  
  element:{  
    line=1307,-5,5,5,5  
    line=1307,-5,-5,5,-5  
    line=1307,-5,5,-5,-5  
    line=1307,5,5,5,-5  
    line=1307,-5,5,5,-5  
    line=1307,5,5,-5,-5  
    line=1307,-5,5,0,10  
    line=1307,5,5,0,10  
  }  
}
```

### 【図形定義部分】

```
B_symbol=House,5100,5700,270,0.5
```

```
B_symbol=House,3100,2400,0,1
```



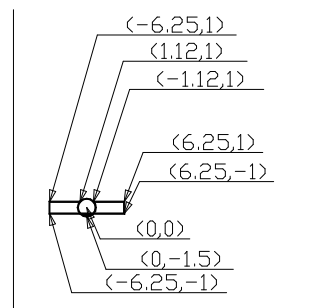
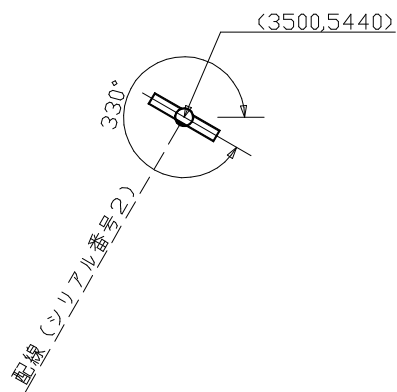
## 5 2 . 電気シンボル ( E\_symbol )

### 【シンボル定義部分】

```
E_symbol:{  
  name=Light41w  
  element:{  
    line=1307,-6.25,1,-1.12,1  
    line=1307,1.12,1,6.25,1  
    line=1307,6.25,1,6.25,-1  
    line=1307,6.25,-1,-6.25,-1  
    line=1307,-6.25,-1,-6.25,1  
    circle=1307,0,0,1.5,0,360,0  
  }  
  hide:{  
    circle=1307,0,0,1.5,0,360,0  
  }  
  wall=0,-1.5  
}
```

### 【図形定義部分】

```
E_symbol:{  
  symbol=Light41w,3500,5440,330,1  
  hight=2400  
  pos=1  
  circuit=214  
  serial=1,2  
}
```

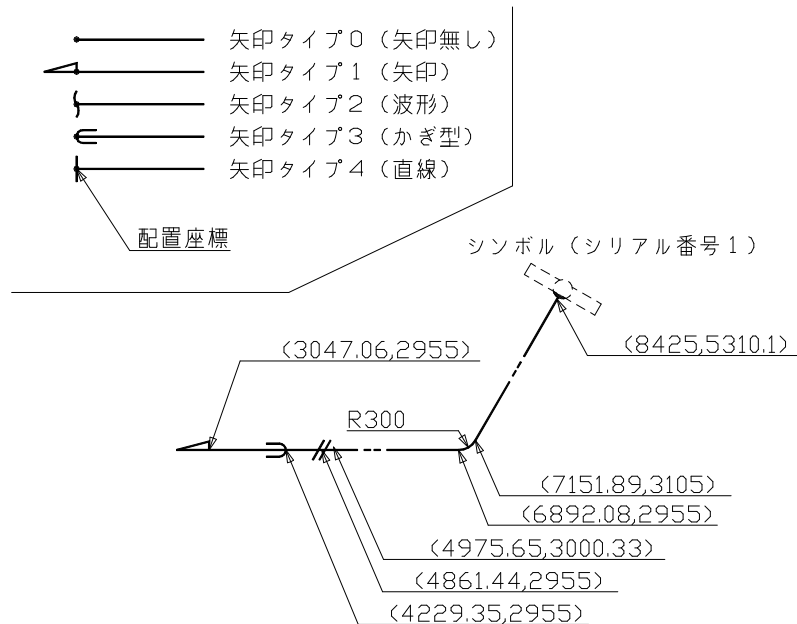


### 5 3 . 電 気 配 線 ( E\_wire )

```

E_wire:{
  line=5307,8425,5310.1,7151.89,3105
  circle=5307,6892.1,3255,300,330,270,1
  line=5307,6892.08,2955,4229.35,2955
  line=1307,4299.35,2955,3047.06,2955
  direc=1,3047.06,2955,180
  piend=4229.35,2955,0
  num=0,2,4861.44,2955,0
  text:{
    type=1307,4975.65,3000.33,1.5,2,1.5,0,0
    character=2.0
  }
}
length=7211
circuit=214
power=1,2,200
serial=2,1,
}

```

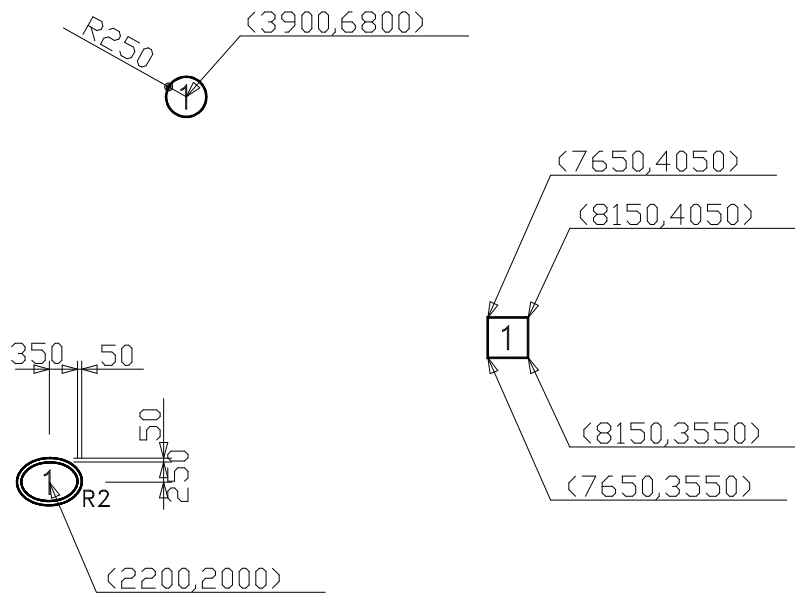


5 4 . 電気回路番号 ( E\_cirno )

```

E_cirno:{
  circle=1307,3900,6800,250,0,360,0
  text:{
    type=1307,3750,6650,1.5,3,1.5,0,0
    character=1
  }
  circuit=011
  power=1,2,100
}
E_cirno:{
  line=1307,7650,4050,8150,4050
  line=1307,7650,3550,8150,3550
  line=1307,7650,4050,7650,3550
  line=1307,8150,4050,8150,3550
  text:{
    type=1307,7750,3650,1.5,3,1.5,0,0
    character=1
  }
  circuit=111
  power=1,2,100
}
E_cirno:{
  ellipse=1307,2200,2000,350,250,0,360,0
  ellipse=1307,2200,2000,300,200,0,360,0
  text:{
    type=1307,2050,1850,1.5,3,1.5,0,0
    character=1
  }
  text:{
    type=1307,2600,1700,2,2,2,0,0
    character=R2
  }
  circuit=214
  power=1,2,200
}

```



0 0 . マルチボリュームファイル ( 要素記述内で、分割される場合 )

1 つ目のファイル ( ファイル名 : TEST1.KDT )

```
FILE_FORMAT:{
  :
  all_line=4000
  this_line=1500
  all_ele=3000
  this_ele=1200
  next_file=TEST2
  date=19930501
  time=173000
  :
}
DRAWING_FORMAT:{
  :
}
SYMBOL_DEFINE:{
  :
}
ELEMENT:{
  :
  LAYER=E_153:{
    :
    E_cirno:{
      circle=1307,3900,6800,250,0,360,0
      text:{
        type=1307,3750,6650,1.5,3,1.5,0,0
        character=1
      }
      circuit=011
      power=1,2,100
    }
  }
}
```

1 要素定義の終了

(eofコード)

2 つ目のファイル ( ファイル名 : TEST2.KDT )

```
FILE_FORMAT:{
  this_line=2500
  this_ele=1800
  next_file=
  date=19930501
  time=173000
}
text:{
  type=1307,7800,6650,2.5,5,5.5,0,1
  character=中間ファイル
}
:
}
LAYER=E_154:{
  measuer:{
    type=2,2
    pul=1,2420,5800,2420,6800
    pul=2,3420,5800,3420,6800
    line=1307,920,6700,2420,6700
    line=1307,3420,6700,3920,6700
    text=1:{
      type=1307,1000,6730,2.5,2.5,2.5,0,0
      character=1000
    }
  }
}
:
}
:
}
EOF
```

E\_153の続き

E\_153の終わり

要素定義の終わり

(eofコード)

第 9 章 別 表 ・ 付 録

別表 1 : 線種

線種 番号	線種名称	1 パターン長さ (mm)
1	実 線	————
2	点 線	~ 1 . 0
3	短 破 線	1 . 0 ~ 4 . 0
4	長 破 線	4 . 0 ~
5	短一点鎖線	~ 1 5
6	長一点鎖線	1 5 ~
7	短二点鎖線	~ 1 5
8	長二点鎖線	1 5 ~

太さ 番号	太さ名称	芯太さ (mm)
1	極細線	0 . 2
2	細 線	0 . 3
3	中 線	0 . 4
4	太 線	0 . 5
5	極太線	0 . 7

色番号	色名称	R の範囲	G の範囲	B の範囲
0 0	黒	0	0	0
0 1	青	0	0	255
0 2	緑	0	255	0
0 3	シアン	0	255	255
0 4	赤	255	0	0
0 5	マゼンダ	255	0	255
0 6	黄	255	255	0
0 7	白	255	255	255
1 1		0	0	1 ~ 254
1 2		0	1 ~ 254	0
1 3		1 ~ 254	0	0
2 1		0	1 ~ 127	1 ~ 127
2 2		0	1 ~ 127	128 ~ 255
2 3		0	128 ~ 255	1 ~ 127
2 4		0	128 ~ 255	128 ~ 255
2 5		1 ~ 127	0	1 ~ 127
2 6		1 ~ 127	0	128 ~ 255
2 7		128 ~ 255	0	1 ~ 127
2 8		128 ~ 255	0	128 ~ 255
2 9		1 ~ 127	1 ~ 127	0
3 0		1 ~ 127	128 ~ 255	0
3 1		128 ~ 255	1 ~ 127	0
3 2		128 ~ 255	128 ~ 255	0
5 1		1 ~ 127	1 ~ 127	1 ~ 127
5 2		1 ~ 127	1 ~ 127	128 ~ 255
5 3		1 ~ 127	128 ~ 255	1 ~ 127
5 4		128 ~ 255	1 ~ 127	1 ~ 127
5 5		128 ~ 255	1 ~ 127	128 ~ 255
5 6		128 ~ 255	128 ~ 255	1 ~ 127
5 7		128 ~ 255	128 ~ 255	128 ~ 255

線種は、今後の状況により検討をし、追加することがある。  
 線太さについては、プロット出力時などに太さ番号を判定するための参考とする。  
 色に関して、該当する色番号の内最も若い数字を使用する。例えば、色が(0,255,255)の場合、色番号 2 4 でも該当するが、色番号 0 3 を使用する。

別表 2 : 使用可能漢字コード ( シフト J I S 準拠 )

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8 1 - 4 0		、	。	、	・	・	：	；	？	！	°	°	′	、	”	^
8 1 - 5 0		—	、	ゞ	ゞ	ゞ	”	全	々	々	〇	—			/	\
8 1 - 6 0	~			…		‘	’	“	”	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	{	
8 1 - 7 0	}			《 》	「 」	『 』	『 』	【 】	【 】	+	-	±	×			
8 1 - 8 0	÷	=		<	>							°				¥
8 1 - 9 0	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§							
8 1 - A 0								〒					=			
8 2 - 4 0																0
8 2 - 5 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
8 2 - 6 0	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8 2 - 7 0	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
8 2 - 8 0		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
8 2 - 9 0	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					あ
8 2 - A 0	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	か	き	ぎ	く	く	け
8 2 - B 0	げ	こ	こ	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
8 2 - C 0	ち	っ	っ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば
8 2 - D 0	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め
8 2 - E 0	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ
8 2 - F 0	を	ん														
8 3 - 4 0	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8 3 - 5 0	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8 3 - 6 0	チ	チ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	
8 3 - 7 0	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8 3 - 8 0	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	
8 3 - 9 0	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									
8 3 - A 0																
8 3 - B 0																
8 3 - C 0											μ					
8 3 - D 0																
8 4 - 4 0																
8 4 - 5 0																
8 4 - 6 0																
8 4 - 7 0																
8 4 - 8 0																
8 4 - 9 0																
8 8 - 9 0																亜
8 8 - A 0	啞	娃	阿	……												
E A - 9 0																龠
E B - 9 0																
E B - A 0																2 3
E B - B 0	cm <sup>2</sup>	cm <sup>3</sup>	mm <sup>2</sup>	mm <sup>3</sup>	E <sub>1</sub>	E <sub>2</sub>	E <sub>3</sub>	E <sub>S3</sub>	職	(株)	(有)	(代)				
E B - C 0																
E B - D 0																
E B - E 0																
E B - F 0																
E C - 0 0																
E C - 1 0																

外字エリア





別表 3 - 2 : 建築図形レイヤ (A\_???)

番号	内 容	番号	内 容
101	通り芯、番号、寸法	301	部屋名称
102	壁、柱	302	仕上げ表
103	梁		
111	壁、床、柱、梁記号	501	家具、什器
112	通り芯以外の寸法		
211	床伏せ	601	補助線
212	" 注記		
213	" 寸法	801	系統図 フロアライン
		802	" 部屋壁の線
221	天井伏せ		
222	" 注記	901	詳細図断面図用
223	" 寸法		

別表 3 - 3 : 電気設備レイヤ (E\_???)

番号	内 容		番号	内 容	
111	電力引込設備	シンボル	221	誘導灯設備	シンボル
112	"	配線	222	"	配線
113	"	注記	223	"	注記
114	"	寸法	224	"	寸法
115	"	ラック・複線配管	225	"	ラック・複線配管
121	幹線設備	シンボル	231	避雷針設備	シンボル
122	"	配線	232	"	配線
123	"	注記	233	"	注記
124	"	寸法	234	"	寸法
125	"	ラック・複線配管	235	"	ラック・複線配管
131	動力設備	シンボル	241	防犯設備	シンボル
132	"	配線	242	"	配線
133	"	注記	243	"	注記
134	"	寸法	244	"	寸法
135	"	ラック・複線配管	245	"	ラック・複線配管
141	コンセント設備	シンボル	251	(非常)放送設備	シンボル
142	"	配線	252	"	配線
143	"	注記	253	"	注記
144	"	寸法	254	"	寸法
145	"	ラック・複線配管	255	"	ラック・複線配管
151	電灯設備	シンボル	261	航空障害灯設備	シンボル
152	"	配線	262	"	配線
153	"	注記	263	"	注記
154	"	寸法	262	"	寸法
155	"	ラック・複線配管	265	"	ラック・複線配管
161	電話テレビ設備	シンボル	301	その他 1 設備	シンボル
162	"	配線	302	"	配線
163	"	注記	303	"	注記
164	"	寸法	304	"	寸法
165	"	ラック・複線配管	305	"	ラック・複線配管
171	他情報通信設備 1	シンボル	311	その他 2 設備	シンボル
172	"	配線	312	"	配線
173	"	注記	313	"	注記
174	"	寸法	314	"	寸法
175	"	ラック・複線配管	315	"	ラック・複線配管
181	他情報通信設備 2	シンボル	3?1	同様に320番台から390番台は、その他設備3から10とする。	
182	"	配線	3?2		
183	"	注記	3?3		
184	"	寸法	3?4		
185	"	ラック・複線配管	3?5		
191	他情報通信設備 3	シンボル	451	インサート	シンボル
192	"	配線	452	"	注記
193	"	注記	453	"	寸法
194	"	寸法	461	スリーブ	シンボル
195	"	ラック・複線配管	462	"	注記
201	自火報防排煙設備	シンボル	463	"	寸法
202	"	配線			
203	"	注記			
204	"	寸法			
205	"	ラック・複線配管	601	補助線	
211	非常照明設備	シンボル	801	系統図設備	シンボル
212	"	配線	802	"	配線
213	"	注記	803	"	注記
214	"	寸法	804	"	寸法
215	"	ラック・複線配管			

別表 3 - 4 : 空気調和設備レイヤ (M\_???)

番号	内 容	番号	内 容
111	一般空調設備 シンボル	281	自動制御設備 シンボル
112	" 単線配管	282	" 配線
113	" 注記	283	" 注記
114	" 寸法	284	" 寸法
115	" 複線配管		
116	" 単線ダクト		
117	" 複線ダクト	301-	その他 設備
121	設備 シンボル	511	機器配置
122	" 単線配管	512	" 注記
123	" 注記	513	" 寸法
124	" 寸法		
125	" 複線配管	451	インサート シンボル
126	" 単線ダクト	452	" 注記
127	" 複線ダクト	453	" 寸法
161	排煙 設備 シンボル	461	スリーブ シンボル
162	" 単線配管	462	" 注記
163	" 注記	463	" 寸法
164	" 寸法		
165	" 複線配管	601	補助線
166	" 単線ダクト		
167	" 複線ダクト	801	系統図設備 シンボル
		802	" 配管ダクト
		803	" 注記
		804	" 寸法

別表 3 - 5 : 衛生消火設備レイヤ (P\_???)

番号	内 容	番号	内 容
111	衛生 設備 シンボル	301-	その他 設備
112	" 単線配管		
113	" 注記	511	機器配置
114	" 寸法	512	" 注記
115	" 複線配管	513	" 寸法
121	消火 設備 シンボル	451	インサート シンボル
122	" 単線配管	452	" 注記
123	" 注記	453	" 寸法
124	" 寸法	461	スリーブ シンボル
125	" 複線配管	462	" 注記
		463	" 寸法
131	設備 シンボル		
132	" 単線配管	601	補助線
133	" 注記		
134	" 寸法	801	系統図設備 シンボル
135	" 複線配管	802	" 配管
		803	" 注記
141	設備 シンボル	804	" 寸法
142	" 単線配管		
143	" 注記		
144	" 寸法		
145	" 複線配管		

別表 4 : レンジの定義と中間ファイルの内容

別表 4 - 1 : 基本図形記述レンジ ( base )

レンジ	定 義 内 容
000	全ての基本図形を定義する事が出来ない。
??1以上	基本図形を定義する事が可能である。

別表 4 - 2 : 基本図形シンボル記述レンジ ( B\_sym )

レンジ	定 義 内 容
000	定義された基本図形シンボルを配置する事が出来ない。
??1以上	定義された基本図形シンボルを配置定義する事が可能である。

別表 4 - 3 : 建築図形記述レンジ ( arc )

レンジ	定 義 内 容
000	建築図形を定義する事が出来ない。
??1以上	通り芯、壁、柱、梁、建具を定義することが可能である。

別表 4 - 4 : 電気設備図形記述レンジ ( elec )

レンジ	定 義 内 容
000	電気設備図形を定義する事が出来ない。
??1以上	電気設備図形を定義する事が可能である。

別表 4 - 5 : 電気図形シンボル記述のレンジ ( E\_sym )

レンジ	定 義 内 容
000	電気図形シンボルを定義する事が出来ない。
??1以上	電気図形シンボルを定義する事が可能である。
??2以上	シンボルの傍記文字の記述が必要である。
??3以上	取り付け高さの定義が必要である。
??4以上	取り付け位置の定義が必要である。
??5以上	回路番号の定義が必要である。
?1?以上	シリアル番号の定義が必要である。

別表 4 - 6 : 電気設備配線図形記述レンジ (E\_wire)

レンジ	定 義 内 容
000	気設備配線図形を定義する事が出来ない。
??1以上	気設備配線図形を定義する事が可能である。
??2以上	省略記号の記述が必要である。
??3以上	打込配管エンド伏せ記述が必要である。
??4以上	配線本数記号記述が必要である。
??5以上	傍記文字の記述が必要である。
??6以上	配線長さの定義が必要である。
??7以上	回路番号の定義が必要である。
??8以上	電源種別の定義が必要である。
?1?以上	シリアル番号の定義が必要である。
1??	配線図形要素記述が、要素記述順に連続で定義される。 隠線部分の記述はない。
2??	配線図形要素記述が、要素記述順に連続で、終始端を同一座標 として定義される。隠線部分の記述はない。
3??	配線図形要素記述が、要素記述順に連続で定義される。 隠線部分は、線種を「0000」として定義する。
4??	配線図形要素記述が、要素記述順に連続で、終始端を同一座標 として定義される。隠線部分は、線種を「0000」として定義する。

別表 4 - 7 : 電気設備回路番号図形記述レンジ (E\_cirno)

レンジ	定 義 内 容
000	電気設備回路番号図形を定義する事が出来ない。
??1以上	電気設備回路番号図形を定義する事が可能である。
??2以上	回路番号の定義が可能である。
??3以上	電源種別の定義が可能である。

別表 4 - 8 : 空気調和設備図形記述レンジ (air)

レンジ	定 義 内 容
000	空気調和設備図形を定義する事が出来ない。

別表 4 - 9 : 衛生消火設備図形記述レンジ ( pipe )

レンジ	定 義 内 容
000	衛生消火図形を定義する事が出来ない。

別表 4 - 10 : シンボル定義レンジ ( sym )

レンジ	定 義 内 容
000	シンボルを定義する事が出来ない。
??1以上	シンボルを定義する事が可能である。

別表 4 - 11 : 基本図形シンボル定義レンジ ( S\_base )

レンジ	定 義 内 容
000	基本図形シンボルを定義する事が出来ない。
??1以上	基本図形シンボルを定義する事が可能である。

別表 4 - 12 : 電気図形シンボル定義レンジ ( S\_elec )

レンジ	定 義 内 容	
	hide	wall
000	電気図形シンボルを定義する事が出来ない。	
??1	配線接続部分を点で定義する	壁取付位置の定義が出来ない
??2	"	壁取付位置の定義可能である
??3	配線接続部分を線で定義する	"
?1?以上	建設 C A D データ交換コンソーシアム等の標準シンボルを定義する事が可能である。	

【注記】

レンジ欄の内容に、「以上」と記入されているものは、レンジの指定桁がその値以上の場合は対応していることを示し、「以上」の記入がない場合は、その値の時だけ対応していることを示す。



別表 5 : 電源種別の相・線・電圧の組み合わせ (日本国内)

相	線	公称電圧	一般表記方法	実電圧 (V)
1	2	100	1 2 w 105 V	105
1	2	200	1 2 w 210 V	210
1	2	231	1 2 w 240 V	240
1	3	200	1 3 w 210 / 105 V	210 / 105
3	3	200	3 3 w 210 V	210
3	3	400	3 3 w 415 V	415
3	3	3300	3 3 w 3,300 V	3300
3	3	6600	3 3 w 6,600 V	6600
3	3	22000	3 3 w 22,000 V	22000
3	3	33000	3 3 w 33,000 V	33000
3	3	66000	3 3 w 66,000 V	66000
3	4	173	3 4 w 182 / 105 V	182 / 105
3	4	400	3 4 w 415 / 240 V	415 / 240

別表 6 : 用紙の大きさ (JIS)

用紙記号	縦寸法 (mm)	横寸法 (mm)
A 4	210	297
A 3	297	420
A 2	420	594
A 1	594	841
A 0	841	1,189
4 A 1	1,189	1,682
4 A 0	1,682	2,378
16 A 1	2,378	3,364
16 A 0	3,364	4,756
⋮	⋮	⋮

別表 7 : 定義文字と定義方法一覧

【注記】

定義内容 : 定義内容として使用できる文字種または、内容を示す。

空欄の場合は、定義内容がないものを示す。

文字種については、それぞれ以下に示す内容を意味する。

数 値 : 数値としての値(1文字目に0がない、「.」と「-」と数字)

数 字 : 0~9の文字

英 字 : a~z、A~Zの文字

英 数 字 : 数字と英字

記 号 : 英数字を除く1バイト系文字

1バイト文字 : 全ての1バイト系文字(数字と英字と記号)

全 文 字 : 1バイト文字と別表2の2バイト文字文字

b y t e : 定義内容が数値の場合は、値の範囲を示し、数値以外の場合は、定義できる文字のバイト数を示す。

= n : 常に n (byte)となる。

< n : n (byte)以下となる。

> n : n (byte)以上となる。

空欄のものは、定義内容の無いものや制限の無い事を示す。定義内容が数値のもので、図形定義内では、用紙サイズと縮尺による。

p a t : 使用可能な定義方法のパターンを示す。1~4の定義方法は、第4章の番号13 定義方法の欄を参照のこと。

定 義 回 : その定義文字の定義できる(しなければならない)回数を示す。

## 1 . FILE\_FORMAT

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
range							2	0 ~ 1
	base				001	= 3	3	1
		B_sym			000 ~ 001	= 3	1	1
	arc				000 ~ 001	= 3	1	1
	elec				000 ~ 001	= 3	1,3	1
		E_sym			000 ~ 015	= 3	1	0 ~ 1
		E_wire			000 ~ 418	= 3	1	0 ~ 1
		E_cirno			000 ~ 003	= 3	1	0 ~ 1
	air				000	= 3	1	1
	pipe				000	= 3	1	1
	sym				000 ~ 001	= 3	1,3	1
		S_base			000 ~ 001	= 3	1	0 ~ 1
		S_elec			000 ~ 013	= 3	1	0 ~ 1
all_line					数値		1	0 ~ 1
this_line					数値		1	1
all_ele					数値		1	0 ~ 1
this_ele					数値		1	1
next_file					MS-DOSファイル名	< 8	1,4	1
date					数字	= 8	1	1
time					数字	= 6	1	1
cad					1バイト文字	< 20	1	0 ~ 1
os					1バイト文字	< 20	1	0 ~ 1
hard					1バイト文字	< 20	1	0 ~ 1
ver					1バイト文字	< 10	1	0 ~ 1
corp					全文字	< 40	1,4	0 ~ 1
make					全文字	< 40	1,4	0 ~ 1
tel					数字,(,),-	< 20	1,4	0 ~ 1
name					全文字	< 20	1,4	0 ~ 1

定義文字 1 で定義回が、「0 ~ 1」のものは、マルチファイルのときの 2 つ目以降のファイルでは、定義しない事を示す。

## 2 . DRAWING\_FORMAT

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
size					An,mAn (*1)	> 2	1	1
scale					n,n/m (*2)	> 1	1	1
project					全文字	< 60	1	1
drawname					全文字	< 60	1	1
date					数字	= 8	1	1
drawer					全文字	< 20	1,4	1
floor_height					数値	> 0	1,4	1
layer_name							2	1
	B_???	(???は数字)			全文字	< 20	1,4	0 ~ 999
	A_???	(???は数字)			全文字	< 20	1,4	0 ~ 999
	E_???	(???は数字)			全文字	< 20	1,4	0 ~ 999
	M_???	(???は数字)			全文字	< 20	1,4	0 ~ 999
	P_???	(???は数字)			全文字	< 20	1,4	0 ~ 999

- (\*1) : n : 0 ~ 4  
m : 自然数の 2 乗
- (\*2) : n : 自然数  
m : 自然数

3 . SYMBOL\_DEFINE

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回	
B_symbol								2	0 ~
name					英数字	< 32	1	1	
element								2	1
line								1	0 ~
					線種	別表 1	= 4	1	
					始点 X	数值		1	
					始点 Y	数值		1	
					終点 X	数值		1	
					終点 Y	数值		1	
circle								1	0 ~
					線種	別表 1	= 4	1	
					中心 X	数值		1	
					中心 Y	数值		1	
					半径	数值		1	
					始角	0 ~ 360		1	
					終角	0 ~ 360		1	
					回轉方向	1, 2	= 1	1	
ellipse								1	0 ~
					線種	別表 1	= 4	1	
					中心 X	数值		1	
					中心 Y	数值		1	
					長径 (a)	数值		1	
					短径	数值	< a	1	
					始角	0 ~ 360		1	
					終角	0 ~ 360		1	
					配置角度	0 ~ 360		1	
					回轉方向	1, 2	= 1	1	
point								1	0 ~
					線種	別表 1	= 4	1	
					座標 X	数值		1	
					座標 Y	数值		1	
successiv								2	0 ~
point								1	3 ~ 100
					線種	別表 1	= 4	1	
					座標 X	数值		1	
					座標 Y	数值		1	
text								2	0 ~
type								1	1
					線種	別表 1	= 4	1	
					配置座標 X	数值		1	
					配置座標 Y	数值		1	
					文字幅	数值	> 0	1	
					文字高	数值	> 0	1	
					文字間隔	数值		1	
					配置角度	0 ~ 360		1	
					縱横書	0, 1	= 1	1	
character								<200	1
measuer								2	0 ~
type								1	1
					矢印形	0, 1, 2	= 1	1	
					矢印方向	1, 2	= 1	1	

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回	
			pul		番号 始端 X 始端 Y 終端 X 終端 Y	数值 数值 数值 数值 数值	<100	1 1 1 1 1	2 ~ 100
			line		線種 始端 X 始端 Y 終端 X 終端 Y	別表 1 数值 数值 数值 数值	= 4	1 1 1 1 1	1 ~ 2
			text		type 線種 配置座標 X 配置座標 Y 文字幅 文字高 文字間隔 配置角度 縱横書 character	数值 別表 1 数值 数值 数值 数值 数值 0 ~ 360 0,1 全文字	< 99 = = > 0 > 0 = = = = <200	1,3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 ~ 99
			spline		point			2 1	0 ~ 5 ~ 100
					線種 座標 X 座標 Y	別表 1 数值 数值	= 4	1 1 1	
			pulline		type			2 1	0 ~ 1
					矢印形 矢印長 矢印間隔	0 ~ 5 数值 数值	= 1 > 0 > 0	1 1 1	
					successiv			2 1	1 2 ~ 20
					point			1 1 1	
					線種 座標 X 座標 Y	別表 1 数值 数值	= 4	1 1 1	
					text			1,3 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1
					type 線種 配置座標 X 配置座標 Y 文字幅 文字高 文字間隔 配置角度 縱横書 character	数值 別表 1 数值 数值 数值 数值 数值 0 ~ 360 0,1 全文字	< 99 = = > 0 > 0 = = = = <200	1,3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		hacchi					2	0 ~
			type				1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				種別	1 ~ 3	= 1		1
				角度	0 ~ 360			1
			area				2	1
				line			1	0 ~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
				circle			1	0 ~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0, 1	= 1		1
			holl				2	0 ~ 20
				line			1	0 ~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
				circle			1	0 ~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0, 1	= 1		1
			pitch				1	1
				間隔 1	数值			1
				間隔 2	数值			0 ~ 1
				間隔 3	数值			0 ~ 1
				間隔 4	数值			0 ~ 1
				間隔 5	数值			0 ~ 1
			point				1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
E_symbol							2	0 ~
	name				英数字, @, &	< 32	1	1
	element						2	1
		line					1	0 ~
				線種	別表 1	= 4		1
				始点 X	数值			1
				始点 Y	数值			1
				終点 X	数值			1
				終点 Y	数值			1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		circle					1	0 ~
			線種	別表 1	= 4			1
			中心 X	数值				1
			中心 Y	数值				1
			半径	数值				1
			始角	0 ~ 360				1
			終角	0 ~ 360				1
			回轉方向	1,2	= 1			1
		ellipse					1	0 ~
			線種	別表 1	= 4			1
			中心 X	数值				1
			中心 Y	数值				1
			長径 (a)	数值				1
			短径	数值	< a			1
			始角	0 ~ 360				1
			終角	0 ~ 360				1
			配置角度	0 ~ 360				1
			回轉方向	1,2	= 1			1
		point					1	0 ~
			線種	別表 1	= 4			1
			座標 X	数值				1
			座標 Y	数值				1
		successiv					2	0 ~
			point				1	3 ~ 100
			線種	別表 1	= 4			1
			座標 X	数值				1
			座標 Y	数值				1
		text					2	0 ~
			type				1	1
			線種	別表 1	= 4			1
			配置座標 X	数值				1
			配置座標 Y	数值				1
			文字幅	数值	> 0			1
			文字高	数值	> 0			1
			文字間隔	数值				1
			配置角度	0 ~ 360				1
			縱横書	0,1	= 1			1
			character	全文字	<200		1	1
		measuer					2	0 ~
			type				1	1
			矢印形	0,1,2	= 1			1
			矢印方向	1,2	= 1			1
			pul				1	2 ~ 100
			番号	数值	<100			1
			始端 X	数值				1
			始端 Y	数值				1
			終端 X	数值				1
			終端 Y	数值				1
			line				1	1 ~ 2
			線種	別表 1	= 4			1
			始端 X	数值				1
			始端 Y	数值				1
			終端 X	数值				1
			終端 Y	数值				1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
			text		数值	< 99	1,3	1 ~ 99
				type			1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				配置座標 X	数值			1
				配置座標 Y	数值			1
				文字幅	数值	> 0		1
				文字高	数值	> 0		1
				文字間隔	数值			1
				配置角度	0 ~ 360			1
				縦横書	0,1	= 1		1
				character	全文字	<200	1	1
			spline				2	0 ~
				point			1	5 ~ 100
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
			pulline				2	0 ~
				type			1	1
				矢印形	0 ~ 5			1
				矢印長	数值	> 0		1
				矢印間隔	数值	> 0		1
				successiv			2	1
				point			1	2 ~ 20
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
				text	数值	< 99	1,3	1
				type			1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				配置座標 X	数值			1
				配置座標 Y	数值			1
				文字幅	数值	> 0		1
				文字高	数值	> 0		1
				文字間隔	数值	> 0		1
				配置角度	0 ~ 360			1
				縦横書	0,1	= 1		1
				character	全文字	<200	1	1
			hacchi				2	0 ~
				type			1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				種別	1 ~ 3	= 1		1
				角度	0 ~ 360			1



定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
			area				2	1
				line			1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
				circle			1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0,1	= 1		1
			holl				2	0 ~ 20
				line			1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
				circle			1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0,1	= 1		1
			pitch				1	1
				間隔 1	数值			1
				間隔 2	数值			0 ~ 1
				間隔 3	数值			0 ~ 1
				間隔 4	数值			0 ~ 1
				間隔 5	数值			0 ~ 1
			point				1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
	hide						2	0 ~ 1
		point					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
		line					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		circle			線種	別表 1	= 4	1 0 ~
					中心 X	数値		1
					中心 Y	数値		1
					半径	数値		1
					始角	0 ~ 360		1
					終角	0 ~ 360		1
					回転方向	0,1	= 1	1
	wall				座標 X	数値		1,4 0 ~ 1
					座標 Y	数値		1
include					MS-DOSファイル名	< 12	1	0 ~
NON							4	0 ~ 1

4 . ELEMENT

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
LAYER					BAEMP_???	= 5	3	1 ~
	line				線種	別表 1	= 4	1
					始端 X	数值		1
					始端 Y	数值		1
					終端 X	数值		1
					終端 Y	数值		1
	circle				線種	別表 1	= 4	1
					中心 X	数值		1
					中心 Y	数值		1
					半径	数值		1
					始角	0 ~ 360		1
					終角	0 ~ 360		1
					回轉方向	0,1	= 1	1
	ellipse				線種	別表 1	= 4	1
					中心 X	数值		1
					中心 Y	数值		1
					長径 (a)	数值		1
					短径	数值	< a	1
					始角	0 ~ 360		1
					終角	0 ~ 360		1
					配置角度	0 ~ 360		1
					回轉方向	1,2	= 1	1
	point				線種	別表 1	= 4	1
					座標 X	数值		1
					座標 Y	数值		1
	successive						2	0 ~
		point			線種	別表 1	= 4	1
					座標 X	数值		1
					座標 Y	数值		1
	text						2	0 ~
		type			線種	別表 1	= 4	1
					配置座標 X	数值		1
					配置座標 Y	数值		1
					文字幅	数值	> 0	1
					文字高	数值	> 0	1
					文字間隔	数值		1
					配置角度	0 ~ 360		1
					縱橫書	0,1	= 1	1
		character			全文字		<200	1
	measuer						2	0 ~
		type			矢印形	0,1,2	= 1	1
					矢印方向	1,2	= 1	1
		pul			番号	数值	<100	1
					始端 X	数值		1
					始端 Y	数值		1
					終端 X	数值		1
					終端 Y	数值		1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		line			線種 別表 1 始端 X 数值 始端 Y 数值 終端 X 数值 終端 Y 数值	= 4	1	1 ~ 2 1 1 1 1 1
		text			数值	< 99	1,3	1 ~ 99
			type		線種 別表 1 配置座標 X 数值 配置座標 Y 数值 文字幅 数值 文字高 数值 文字間隔 数值 配置角度 0 ~ 360 縱横書 0,1	= 4	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			character		全文字	<200	1	1
	spline						2	0 ~
		point			線種 別表 1 座標 X 数值 座標 Y 数值	= 4	1	5 ~ 100 1 1 1
	pulline						2	0 ~
		type			矢印形 0 ~ 5 矢印長 数值 矢印間隔 数值	= 1 > 0 > 0	1	1 1 1
		successve					2	1
			point		線種 別表 1 座標 X 数值 座標 Y 数值	= 4	1	2 ~ 20 1 1 1
		text			数值	< 99	1,3	1
			type		線種 別表 1 配置座標 X 数值 配置座標 Y 数值 文字幅 数值 文字高 数值 文字間隔 数值 配置角度 0 ~ 360 縱横書 0,1	= 4 > 0 > 0	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1
			character		全文字	<200	1	1
	hacchi						2	0 ~
		type			線種 別表 1 種別 1 ~ 3 角度 0 ~ 360	= 4 = 1	1	1 1 1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		area					2	1
			line				1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
			circle				1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0,1	= 1		1
		holl					2	0~20
			line				1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
			circle				1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0,1	= 1		1
		pitch					1	1
				間隔 1	数值			1
				間隔 2	数值			0~1
				間隔 3	数值			0~1
				間隔 4	数值			0~1
				間隔 5	数值			0~1
		point					1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				座標 X	数值			1
				座標 Y	数值			1
	A_construct						2	0~
		line					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数值			1
				始端 Y	数值			1
				終端 X	数值			1
				終端 Y	数值			1
		circle					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数值			1
				中心 Y	数值			1
				半径	数值			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回轉方向	0,1	= 1		1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		text					2	0~
			type				1	1
				線種	別表 1	= 4		1
				配置座標 X	数値			1
				配置座標 Y	数値			1
				文字幅	数値	> 0		1
				文字高	数値	> 0		1
				文字間隔	数値			1
				配置角度	0 ~ 360			1
				縦横書	0,1	= 1		1
			character		全文字	<200	1	1
		num			1 バイト文字	< 10	1,4	1
	A_wall						2	0~
		line					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数値			1
				始端 Y	数値			1
				終端 X	数値			1
				終端 Y	数値			1
		circle					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数値			1
				中心 Y	数値			1
				半径	数値			1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回転方向	0,1	= 1		1
		hacchi					2	0~
		width			数値	> 0	1,4	1
		height					1,4	1
				壁下端	数値			1
				壁上端	数値			1
		mater			0 ~ 6	= 1	1,4	1
	A_column						2	0~
		line					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				始端 X	数値			1
				始端 Y	数値			1
				終端 X	数値			1
				終端 Y	数値			1
		circle					1	0~
				線種	別表 1	= 4		1
				中心 X	数値			1
				中心 Y	数値			1
				半径	数値	> 0		1
				始角	0 ~ 360			1
				終角	0 ~ 360			1
				回転方向	0,1	= 1		1
		hacchi					2	0~
		size					1,4	1
				形状	0 ~ 2	= 1		1
				横寸法 or 径	数値	> 0		0 ~ 1
				縦寸法	数値	> 0		0 ~ 1
		mater			0 ~ 3	= 1	1,4	1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
	A_beam						2	0~
		line					1	0~
			線種	別表 1	= 4			1
			始端 X	数値				1
			始端 Y	数値				1
			終端 X	数値				1
			終端 Y	数値				1
		circle					1	0~
			線種	別表 1	= 4			1
			中心 X	数値				1
			中心 Y	数値				1
			半径	数値				1
			始角	0 ~ 360				1
			終角	0 ~ 360				1
			回転方向	0,1	= 1			1
		width					1,4	1
			梁幅	数値	> 0			1
			最大梁幅	数値	> 梁幅			0~1
			ハンチ長	数値	> 0			0~1
		height					1,4	1
			梁上端	数値				1
			梁成	数値	> 0			1
			最大梁成	数値	> 梁成			0~1
			ハンチ長	数値	> 0			0~1
		mater					= 1	1,4 1
	A_fitting						2	0~
		line					1	0~
			線種	別表 1	= 4			1
			始端 X	数値				1
			始端 Y	数値				1
			終端 X	数値				1
			終端 Y	数値				1
		circle					1	0~
			線種	別表 1	= 4			1
			中心 X	数値				1
			中心 Y	数値				1
			半径	数値				1
			始角	0 ~ 360				1
			終角	0 ~ 360				1
			回転方向	0,1	= 1			1
		width					> 0	1,4 1
		height						1,4 1
			下端	数値				1
			上端	数値	> 下端			1
		kind					= 1	1,4 1
		mater					= 1	1,4 1
	B_symbol						1	0~
			名称	英数字	< 32			1
			配置 X	数値				1
			配置 Y	数値				1
			角度	0 ~ 360				1
			倍率	数値				1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回	
	E_symbol				名称	英数字, @, &	< 32	1, 2	0 ~ 1
					配置 X	数值			0 ~ 1
					配置 Y	数值			0 ~ 1
					角度	0 ~ 360			0 ~ 1
					倍率	数值			0 ~ 1
				symbol	名称	英数字, @, &	< 32	1	0 ~ 1
					配置 X	数值			1
					配置 Y	数值			1
					角度	0 ~ 360			1
					倍率	数值			1
				text				2	0 ~ 10
				type	線種	別表 1	= 4	1	1
					配置座標 X	数值			1
					配置座標 Y	数值			1
					文字幅	数值	> 0		1
					文字高	数值	> 0		1
					文字間隔	数值			1
					配置角度	0 ~ 360			1
					縦横書	0, 1	= 1		1
				character	全文字		< 10	1	1
				hight	数值			1, 4	0 ~ 1
				pos	1 ~ 5		= 1	1, 4	0 ~ 1
				circuit	英数字, . -		< 10	1, 4	0 ~ 1
				serial				1	0 ~ 1
					番号	数值	10桁		1
					相手番号	数值	10桁		0 ~ 100
	E_wire							2	0 ~
				line	線種	別表 1 or 0000	= 4	1	0 ~
					始端 X	数值			1
					始端 Y	数值			1
					終端 X	数值			1
					終端 Y	数值			1
				circle	線種	別表 1 or 0000	= 4	1	0 ~
					中心 X	数值			1
					中心 Y	数值			1
					半径	数值			1
					始角	0 ~ 360			1
					終角	0 ~ 360			1
					回転方向	0, 1	= 1		1
				direc	タイプ	0 ~ 4	= 1	1	0 ~ 2
					配置 X	数值			1
					配置 Y	数值			1
					角度	0 ~ 360			1
				piend				1	0 ~
					配置 X	数值			1
					配置 Y	数值			1
					角度	0 ~ 360			1



定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回	
		num			接地線数 電力線数 配置 X 配置 Y 角度	0,1 数值(整数) 数值 数值 0~180	= 1 > 0	1 1 1 1 1	0~ 1 1 1 1
		text					2	0~	
			type		線種 配置座標 X 配置座標 Y 文字幅 文字高 文字間隔 配置角度 縦横書	別表 1 数值 数值 数值 数值 数值 0~360 0,1	= 4	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1
			character		全文字		<200	1	1
		length			数值	> 0	1,4	0~1	
		circuit			英数字 . -	< 10	1,4	0~1	
		power					1,4	0~1	
			相		1,3	= 1		1	
			線		1~4	= 1		1	
			電圧		別表 5			1	
		serial					1	0~1	
			番号		数值	10桁		1	
			相手番号		数值	10桁		1	
			相手番号		数值	10桁		1	
	E_cirno	line			線種 始端 X 始端 Y 終端 X 終端 Y	別表 1 数值 数值 数值 数值	= 4	1 1 1 1 1	0~ 1 1 1 1
		circle			線種 中心 X 中心 Y 半径 始角 終角 回轉方向	別表 1 数值 数值 数值 0~360 0~360 0,1	= 4	1 1 1 1 1 1	0~ 1 1 1 1 1
		ellipse			線種 中心 X 中心 Y 長径 (a) 短径 始角 終角 配置角度 回轉方向	別表 1 数值 数值 数值 数值 0~360 0~360 0~360 1,2	= 4 < a = 1	1 1 1 1 1 1 1 1	0~ 1 1 1 1 1 1 1

定義文字 1	定義文字 2	定義文字 3	定義文字 4	定義文字 5	定義内容	byte	pat	定義回
		point					1	0 ~
			線種		別表 1	= 4		1
			座標 X		数值			1
			座標 Y		数值			1
		text					2	0 ~
			type				1	1
			線種		別表 1	= 4		1
			配置座標 X		数值			1
			配置座標 Y		数值			1
			文字幅		数值	> 0		1
			文字高		数值	> 0		1
			文字間隔		数值			1
			配置角度		0 ~ 360			1
			縱横書		0, 1	= 1		1
			character		全文字	< 200	1	1
		B_symbol					1	0 ~
			名称		英数字	< 32		1
			配置 X		数值			1
			配置 Y		数值			1
			角度		0 ~ 360			1
			倍率		数值			1
		circuit			英数字 . -	< 10	1, 4	0 ~ 1
		power					1, 4	0 ~ 1
			相		1, 3	= 1		1
			線		1 ~ 4	= 1		1
			電圧		別表 5			1

別表 8 : 建設業 C A D データ交換コンソーシアム標準シンボルコード一覧

分類	4 0 で固定 ( 電気設備を示す )
大分類	2 桁の数字
中分類	3 桁の数字
小分類	4 桁の数字
再分類	3 桁の数字
セパレータ	& & で固定
リビジョン	1 桁の数字またはアルファベット
連番	4 桁の数字
予備	1 桁の数字
スケール	2 桁の数字

設備名	分類	大分類	中分類	小分類	細分類	セパ レー タ	リ ビ ジ ヨ ン	連番	予 備	スケ ール